

令和3年度

事業報告書

及び

事業報告の附属明細書

社会福祉法人 掛川市社会福祉協議会

## 目 次

### 【事業報告書】

1 総括	1
2 施策別説明	1
3 特記事項	8
4 詳細資料	9
第1 安心して暮らせるまちづくり	
1 安心につながる相談支援事業	9
2 人権を守る権利擁護事業	13
3 生活を守る在宅サービスの充実	14
4 安心を支える災害時対応支援事業	16
第2 ともに支えるまちづくり	
1 居場所とつながりをつくる当事者活動支援事業	18
2 高齢者の社会参加を支援する事業	26
3 子どもの成長と子育てを支援する事業	32
第3 市民参加のまちづくり	
1 市民を育てるボランティア活動推進事業	36
2 地域を育てる地域活動支援事業	37
3 福祉を伝える啓発・情報提供活動	47
4 福祉の心を育てる福祉教育活動	49
第4 福祉基盤を強化する体制・組織づくり	
1 福祉を進める体制を強化する事業	53
2 社会福祉協議会の運営と組織強化	55
3 共同募金運動の推進	59
【事業報告の附属明細書】	63

## 1 総括

令和元年度末から始まった新型コロナウイルス感染の問題は、令和3年度においても収束の気配を見せず、8～9月の第5波や年明け以降に発生した第6波の感染者の拡大は大きな社会的制約を発生させた。社協においても、ふれあい活動の制限や施設の閉鎖、事業・会議等の中止や縮小などを生み、年間を通じて活動の停滞を招いた。また新型コロナウイルスの影響による生活困窮者の発生は年間を通じ深刻な数となっており、国の進める特例貸付制度も、終了ができずに期間延長を繰り返している。社協全体の事業において深刻な状況が続いている。

また、今年度は「第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画」（スマイルプランかけがわ21、以下「第四次スマイルプラン」）の初年度であり、計画の普及・推進のための重要な年であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により計画推進にも影響を及ぼした。

限られた条件の下、地域においては各ふくしあに配置された生活支援コーディネーター(CSW兼務)を中心にして、地域の支えあい活動を継続して推進支援した。

社協組織においては、令和2年度末をもって指定管理施設であった老人福祉センター山王荘、大須賀老人福祉センター、大東児童館、大須賀児童館の4施設及び受託施設である掛川児童交流館の施設管理を終了し、係体制も組みかえて新年度に臨んだ。

コロナ禍により先の予測がつかない状況の中、社協自体の大きな機構改革も踏まえ、手探りの事業運営ではあったが、地域福祉を推進する団体として地域包括ケアの推進を図るため、ふくしあの機能強化を重点課題としながら、各事業が連動する個別支援・地域支援・組織支援の構築に尽力し、新たな事業展開を模索した一年であった。

## 2 施策別説明

( ) 内のページは、詳細資料の該当ページを示しています。

### 第1 安心して暮らせるまちづくり

#### 1 安心につながる相談支援事業（9～13ページ）

相談事業は、昨年度から開始した国による「コロナ特例貸付」事業を活用した新型コロナウイルスの影響による生活困窮者の支援を中心に実施した。貸付件数自体は、前年度と比べ減少傾向であったが、課題の長期化により、制度を活用しても困窮から脱却できない新たな生活困窮者の課題が顕在化し、フード支援を含む制度外の生活支援の対応件数が増加した。前年度に引き続き、多くの外国籍の方を含む目の前の困窮者の対応に追われ、派遣職員の増員などの体制強化をおこないながらの

対応となり、年間を通じて、相談援助業務が本来目指す自立再建に向けた寄り添い支援が十分できなくなってしまうほど業務はひっ迫し、職員も疲弊した1年となつた。

## 2 人権を守る権利擁護事業（13～14 ページ）

権利擁護の1つである日常生活自立支援事業では、35人の契約者に対して支援を行い、3,000件を超える相談と、約1,000件の支援をおこなった。コロナウイルスの影響もあり、訪問回数の制限等も指示されたが、利用者の生活を守るサービスとして中止することなく支援をおこなった。

成年後見事業においては、法人後見機関として事業を開始したが、令和3年度に後見事業を開始する案件はなかった。体制整備については、次年度に向けて行政がおこなう中核機関設置の協力や、菊川市・御前崎市を含めた3市の行政・社協により実施している「市民後見人養成講座」に参画した。市民後見人養成は、第1期生の1名の他、第3期生がコロナ禍の影響により研修延長となったため、候補者2名の実務研修を引き続き行っている。

## 3 生活を守る在宅サービスの充実（14～16 ページ）

障がい福祉サービスにおいては、身体、知的、児童、精神の居宅介護、ガイドヘルパーによる視覚障がい者を支援する同行援護を実施した。ガイドヘルパーにおいては、市内で運営している事業所が当会のみであり、ニーズに対応するための人材確保や組織体制の強化が課題となっている。

外出支援活動として、車いす及び福祉車両（車いす対応車両）の貸し出しでは、貸出件数が、車いす704件、福祉車両545件であった。生活支援事業であるため、コロナ禍でも停止することなく貸出をおこなっており、利用者数は前年度と比べ、車いすは大きく増加し、福祉車両は前年度並みの実績となっている。

## 4 安心を支える災害時支援事業（16～17 ページ）

前年度、社協職員のみで実施した災害ボランティアセンター立ち上げ訓練は、新型コロナ第5波の影響により、今年度は掛川市に準じて訓練自体を中止した。訓練はできなかつたが、連携を取っている「災害VC掛川」への定例会には参加して情報交換に努め、11月には静岡県社協や掛川市と協働して「ふじのくに災害ボランティアコーディネーター養成講座」を実施し、コロナ禍においても可能な体制強化を図った。また、年度末には、災害時に掛川市と共に活動するための災害時協定を締結した。

災害時支援においては、7月に発生した豪雨災害において、熱海市社協の設置す

る災害ボランティアセンター（地域ささえあいセンター）に2回にわたり各1名ずつの職員を派遣し、被災地支援をおこなった。

## 第2 ともに支えるまちづくり

### 1 居場所とつながりをつくる当事者活動支援事業（18～26 ページ）

在宅介護者支援事業は感染予防のため事業を大幅に変更し、リフレッシュの会以外の年間事業は中止となった。認知症家族介護者交流事業「笑顔のつどい」及び認知症カフェは感染予防のために中止する回もあったが、年間を通じて実施できた。

8年前から取り組んでいるひきこもり者支援事業は、前年度から市の設置する「掛川市ひきこもり対策協議会」の「指定支援機関」として事業に取り組んだ。個別の相談支援を始め、啓発講演会、当事者家族の学習会やおしゃべりサロン、当事者の居場所支援など活動は充実してきている。

休日に外出することの少ない知的障がい者や精神障がい者が、ボランティアとともに、社会体験活動をおこない、会食やレクリエーションを通じて交流を図る場としての青年学級の「この指とまれ」・「四つ葉の会」は各10回開催できたが、食事を伴う「ほっとほっとサロン」は、北会場4回、南会場6回の開催にとどまった。

### 2 高齢者の社会参加を支援する事業（26～31 ページ）

高齢者の孤立防止と生きがいづくりとして、地区福祉協議会等が主催する「高齢者ふれあいいきいきサロン」「複合サロン」は、4月の調査では82会場の報告があったが、今年度もコロナ禍による活動制限は多くのサロンで報告された。社協ではコロナ禍でもできるサロン活動や代替活動を提案し活動支援を行った。

シニアクラブ支援においては、年度当初は連合会及び3支部の事務局を担ったが、支援の効率化を図るため、南部2支部については民間事業者へ事務局を依頼した。あわせて、シニアクラブの活動支援について、掛川市やシニアクラブとともに協議を開始した。

介護予防事業では、生きがいデイサービス事業を受託しているが、今年度においてもコロナ禍により年間を通じて午前のみのプログラムとして実施した。次年度は事業の安定的運営と、より地域に密着した介護予防支援を展開するために、掛川市と事業の枠組みを変更する協議をおこなった。

### 3 子どもの成長と子育てを支援する事業（32～36 ページ）

子ども支援では、旧かざぐるまを会場として、障がいを持った子どもの発達を促すための「おもちゃ図書館」を毎月1回、第3日曜日に開催した。コロナウイルス

感染予防のための人数制限や、第5波・第6波による2回の休館などにより、実績はコロナ以前と比べ減少しているが、利用児にとって安心した遊び場となっている。

おやこたけのこ教室も、年間計画からコロナ感染の影響により9回中止となつたが、子の発達に不安を抱く保護者にとって貴重な支援の場となった。

子育て支援では、放課後児童健全育成事業（学童保育所）について、民間運営の「ほほえみ学童保育所」と統合した横須賀小学童保育所を除く12箇所の運営をおこなった。コロナウイルス感染者の低年齢化に伴い、学童保育所運営においても難しい判断をしながらの施設運営となつたが、支援員の感染対策の徹底により、閉所する施設なく運営を続けることができた。また、運営の方針について、教育政策課と継続的に協議している。

放課後等デイサービス事業は、昨年度で「かざぐるま」を閉所し、今年度は「はるかぜ」「みなみかぜ」の2施設体制で運営した。特別支援学校等でも、コロナ感染の発生による学級閉鎖や学年閉鎖等が発生し、学校にあわせての放デイ運営となつたが、幸い施設における感染が発生することなく運営することができた。

地域で行われる子育てサロン・サークルの支援においても、コロナウイルスの影響による制限の中、可能な情報提供や活動支援をおこなつた。

### 第3 市民参加のまちづくり

#### 1 市民を育てるボランティア活動推進事業（36～37ページ）

ボランティア養成講座は、第6波の影響により時期を変更して開催した。

ボランティア実践活動への支援においても、ボランティア活動がコロナウイルスのために制限される中、個々のボランティア活動やボランティア連絡協議会の活動も大きな影響を受けた。

多様な市民との連携においては、計画していた市民交流センターとの連携の協議はできなかつたが、企業の社会貢献として、例年のふれあい広場は中止になつても取り組んでいただける企業があつた。

#### 2 地域を育てる地域活動支援事業（37～47ページ）

地域活動の支援は、地域福祉実践者で構成する「地区福祉協議会連絡会」を中心として、地域福祉実践地区のネットワーク化や、地域主体の地域福祉実践体制の整備を図つている。市社協は事務局を担い、役員会、代表者会、エリア別代表者会を実施し、情報交換や課題検討をおこなつた。コロナ禍で活動が制限される中でも、地域課題に添つた活動への検討や実践が取り組まれる中で、地域の福祉力が高まり、地域福祉推進における、行政・住民・社協の対等な推進基盤が築かれる土壌が育つてきている。

市社協は、市内 35 地区の地区福祉協議会などの地域福祉推進組織に対し個別に活動支援を行い、住民主体の地域福祉活動の活性化、安定化に努めてきた。財政支援においても、地区福祉協議会助成事業とともに、特別助成事業を行い、30 地区で 88 事業に活用された。

地域の中で見守りを高め、身近な支えあい体制を再構築していくための「小地域福祉ネットワーク活動」の推進支援を継続しておこなった。普及のための学習活動は、ふくしあ単位であるエリア別研修会と、先進地視察研修は Zoom を活用して実施した。

4 月に実施した「小地域福祉ネットワーク活動取り組み状況調査」の結果によると、202 の区のうち、社協提案による支援員型の実施 90 区、独自の方式による実施 35 区、準備中 14 区、検討中 28 区、検討無 35 区で、少しずつではあるが、実践区数の増加とともに活動内容の充実が図られ、地域で支え合う住民の福祉力の向上を感じられる。CSW が兼務している生活支援コーディネーターが (SC) が地域の支え合い活動を積極的に支援していることが活動熟成の要因の一つになっていると考える。

本所やふくしあにおいてレクリエーション用具等の貸出をおこなう「福祉お助け用品貸出事業」は、感染拡大の影響により貸出制限をした時期もあったが、実績は 604 件と前年から若干増加した。

### 3 福祉を伝える啓発・情報提供活動（47～49 ページ）

前年度に引き続き、毎年 10 月に実施してた「ふれあい広場」は中止となり、代替事業として「かけがわハピネスフォトコンテスト」を実施し 30 点の応募があった。優秀者を表彰するとともに、優秀作品 21 点を中央図書館、大東図書館、大須賀図書館で展示した。

社会福祉大会は第 6 波の影響により式典を中止した。表彰者については、福祉に功績のあった 51 (人・団体) に社協会長表彰、8 (人・団体) に感謝状を決定し、伝達として共同募金感謝状の 8 (人・団体)、厚生労働大臣表彰の 1 団体と共に、個別に賞状を届けた。

情報提供事業では、社協だよりを中心に情報提供活動に努めた。ホームページを始め、フェイスブックの活用など、社協事業の P R を積極的におこなった。

### 4 福祉の心を育てる福祉教育活動（49～52 ページ）

学校発の福祉教育への支援として、福祉教育実践校に小学校 22 校、中学校 9 校、高等学校 4 校、計 35 校全校を指定し、各学校における教育目標に沿った実践活動の展開を支援した。また、実践校間で情報交換や課題検討をするための実践校連絡会は、感染予防のため Zoom を活用して 2 回開催した。連絡会では、講師等として

学校の活動を支援している障がいを持つ人（協力ゲスト）も参加し、福祉教育担当教員との関係を作りながら意見交換をおこなうことで、相互理解を深めていった。

地域ぐるみの学びの場づくりとして市民地域福祉セミナーを Zoom により開催した。また、児童・生徒に対する学校外の福祉教育を推進するための小・中学生を対象とした交流型福祉体験教室は、パラリンピック開催に合わせ、パラスポーツを素材に各 1 回実施できた。

## 第4 福祉基盤を強化する体制・組織づくり

### 1 福祉を進める体制を強化する事業（53～55 ページ）

関係機関との連携では、地域包括支援センターとの連携を図るため、地域ケア会議及び包括相談協力員懇話会へ参加した。

社会福祉法人の社会貢献活動について、市内に本部や施設のある社会福祉法人の理解を得て、「掛川市社会福祉法人等社会貢献研究会」を実施した。研究会では、各法人ともコロナ禍の中、思うような社会貢献活動ができない苦しさが報告された。また、元年度から取り組んでいる「福祉なんでも相談」は、29 の施設とふくしあや社協との連携により継続している。月の相談件数は数件と決して多くないが、少しずつ施設と社協との連携の事例が増えてきている。

第四次スマイルプランは 5 年計画の初年度に当たり、普及・推進の重要な年度であったが、コロナ禍により、思うような展開を図ることはできなかった。

### 2 社会福祉協議会の運営と組織強化（55～59 ページ）

組織強化の為の役職員研修会は、コロナ禍のため昨年に引き続き実施できなかった。CSW 研修会は Zoom を活用し、日本社会事業大学菱沼准教授の協力の下、予定通り実施した。

自主財源である一般会費の納入率は、平成 26 年度 76.52%、平成 27 年度 74.86%、平成 28 年度 73.04%、平成 29 年度 72.5%、平成 30 年度 70.7% と、令和元年度 71.0% 令和 2 年度 69.88% と毎年高い納入率を得られている。今年度もコロナ禍で経済が不安定な状況であるが、69.30% と例年並みの納入を得られた。あらためて市民の理解とともに、区長会の御協力に感謝したい。

施設・団体会費も 24 件、128,000 円と前年並みの実績となった。施設連携を強化し、社協理解を広めることで協力施設を増やしていきたい。

賛助会費については、企業・団体・個人から、915 件、2,219,725 円いただいた。前年度比は件数で 69 件減、金額では 208,173 円減であり、減少傾向は変わらないが、社協への理解と支援が賛助会費増強につながるものであり、あらためて事業の活性化と社協 PR 活動等の取り組みを強化したい。

### 3 共同募金運動の推進（59～62 ページ）

共同募金（一般募金）は、11,223,866 円（目標額の 94.7%）、歳末たすけあい募金は 7,760,482 円（目標額の 91.3%）となり、どちらも目標額を達成することはできなかった。しかし、コロナ禍で各種イベント・行事の中止や街頭募金等の活動が制限されたり、また経済状態が不安定な状況の中で、おおむね目標額を達成することができたことは、貴重な淨財を提供いただいた方や熱心に募金活動に取り組んでいただいたボランティアの力であると考える。共同募金の助成金によって、地域福祉推進のために 14 事業 10,894,501 円（参加者負担金等を含めた総事業費は 12,629,587 円）を活用することができた。また「赤い羽根地域福祉促進助成事業」は、地域に対し 11 件、581,000 円を助成した。前年度から若干増加したが、本事業が更に活用されるよう今後も普及啓発活動に力を入れていきたい。

また、歳末募金では、経済的理由で生活支援が必要な 170 世帯、277 人の方に見舞金として 4,017,000 円を贈呈した。併せて、地域でおこなう高齢者や障害者などの年越しの事業に対して 63 事業、1,323,000 円を配分するなど、希望する個人、団体に助成することができた。あらためて、御協力いただいたすべての方に感謝申し上げるとともに、共同募金活動の活性化と貴重な淨財の有効活用については、静岡県共同募金会と連携を密にして、引き続き推進していきたい。

### 3 特記事項

3年度特徴的な事業に対して、具体的な成果等を示す。

施策 NO.	事業名	内容・成果等
第1-2	法人後見事業の実施	法人後見受任の案件は出なかったが、市民後見人養成講座からの登録者1名と第3期生2名の養成研修の継続を実施した。
第2-1	ひきこもり者支援事業の実施	事業開始8年目となり、学習会やサロンも安定した運営ができるようになり、個別の相談件数対応も増えてきた。また、市が設置した「掛川市ひきこもり対策協議会」の「指定支援機関」として、市と協働して事業の推進を図った。
第2-3	学童保育所運営方針の検討	横須賀小学童保育所を除く12箇所の運営を実施した。また、運営方針の検討として教育政策課と継続的に協議を続けた。
第2-3	放課後等デイサービス事業の安定運営	「はるかぜ」「みなみかぜ」の2施設の運営とし、事業の安定化を図った。
第4-1	ふくしあによる第2層生活支援コーディネーター(SC)の配置	ふくしあCSWの兼務による第2層SCにより、コロナ禍における地域の支え合い活動推進のための支援や学習活動を実施した。また、地域包括支援センター認知症推進員と協働した「認知症カフェ」も会場を移動し実施した。
第4-1	社会福祉法人による社会貢献活動の実施	社会福祉法人の社会貢献活動について市内を中心とした社会福祉法人の参加を得て、法人貢献研究会を開催するとともに、元年度から実施している「福祉なんでも相談」を29施設の参加のもと、継続して実施した。
第4-1	第四次スマイルプランかけがわ21の推進	第四次計画の初年度に当たり、コロナ禍の中ではあるが、可能な範囲で計画やロードマップの普及及び推進活動をおこなった。

## 4 詳細資料

### 第1 安心して暮らせるまちづくり

#### 1 安心につながる相談支援事業

##### <1> 各種相談支援事業の実施

###### (1) 福祉総合相談の実施(月～金)

複雑化する住民の生活課題を解決するため、広く地域住民の相談に応じ、適切な助言を行ふことを目的に総合的な相談を実施した。

開設日 毎週月曜日～金曜日 9:00～17:00

開設場所 社会福祉協議会本所 各ふくしあ 各出先機関

###### 相談件数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R3	468	453	598	525	514	561	541	561	463	444	392	526	6,046
R2	614	558	585	644	549	529	607	448	476	459	506	613	6,588
元	640	500	522	587	508	424	510	459	504	359	501	425	5,939
30	464	534	541	458	413	441	533	552	466	459	506	476	5,843
29	429	532	547	450	524	471	538	574	627	446	515	519	6,172

###### (2) 心配ごと相談の実施

相談日数 : 49 日

※ 新型コロナウイルス緊急事態宣言およびまん延防止措置発令中の相談日は中止とした。  
(本所会場第1.3.5金曜日 大東会場第2金曜日 大須賀会場第4金曜日)

相談件数 : 25 件

###### 相談件数と相談内容

内 容	本 所	大 東 会 場	大 須 賀 会 場	内 容	本 所	大 東 会 場	大 須 賀 会 場
生計	0	0	0	財産	0	0	1
金銭	4	1	2	事故	0	0	0
職業・生業	0	0	0	相隣関係	1	2	0
家族	2	1	0	児童	0	0	0
結婚	0	0	0	老人	1	0	0
離婚	1	0	0	苦情	1	0	0
医療	0	0	0	その他	2	3	0
遺産・相続	0	3	0	合計	12	10	3

###### (3) 結婚相談の実施(第1.2.3日曜日) ※第2日曜日は女性のみ

※ 新型コロナウイルス緊急事態宣言およびまん延防止措置発令中の相談日は中止とした。

開設場所 掛川市総合福祉センター（あいり～な）東館1階

見合い件数 148件（令和4年3月末現在）

結婚成立件数 3件 男性 2人 女性 1人

登録者数 87名 男性 62人 女性 25人 (令和4年3月末現在)

###### 相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	13	19	23	18	13	休	7	21	16	11	休	休	141

#### (4) ボランティア相談の実施(月～金)

総合福祉センター内ボランティアセンター、東部ふくしあ、中部ふくしあ、西部ふくしあ、南部大東ふくしあ、南部大須賀ふくしあの6箇所にて、相談者に対するボランティアコーディネートを実施した。

相談件数（6箇所合算件数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	9	4	13	12	4	7	9	7	6	5	7	12	95

#### (5) 善意銀行貸付事業の実施

生活困窮世帯に対し、緊急かつ一時的に必要とする資金を無利息で貸し付け、適切な指導を行い自立更生の支援した。コロナの特例貸付の申請相談増のため、専任の担当を配属し、自宅訪問を行い現状確認の上、生活指導、自立支援の強化を図る予定であったが、次年度に繋ぐ形となった。貸付申出者に安易に貸し付けをせず、必要最小限の貸し付けで分割交付を原則とし、生活困窮者自立支援事業担当者と連携を組むことで償還が確実に行われるようになった。

貸付限度額 1世帯 30,000円まで

貸付・償還実績

年 度	貸付件数	貸付金額	償還件数	償還金額
令和3年度	13件	304,388円	52件	310,918円
令和2年度	29件	710,898円	101件	696,368円
元年度	19件	438,999円	97件	480,074円
平成30年度	22件	350,636円	124件	508,343円
29年度	9件	128,020円	116件	615,454円
28年度	26件	462,830円	104件	681,338円

#### (6) 生活福祉資金の貸付(臨時特例つなぎ資金を含む)事業の実施

他制度からの借り入れが困難な低所得世帯や障がいのある方、65歳以上の高齢者のいる世帯に、民生委員児童委員の生活援助指導のもとに低金利で資金を貸し付けることにより、世帯の経済的自立を支援した。（実施主体 静岡県社会福祉協議会）

令和3年度も昨年に引き続きコロナの影響で申請と相談が多く、対応に苦慮。

償還については、コロナの影響でおこなわれなかった。

生活福祉資金貸付実績（内訳）

資金種類		貸付用途	貸付件数
総合支援資金	生活支援費	生活再建までの間に必要な生活費用（含・延長）	156
	住宅入居費	住宅手当申請の方で敷金、礼金等賃貸契約に必要な費用	0
	一時生活再建費	就業のための支度費、技能習得費、低家賃の賃貸住宅へ転宅するための費用、家具什器費、滞納の公共料金等の支払い、債務整理に必要な経費など	0
福祉資金	福祉費	日常生活を送る上で、又は自立した生活を確保していくために、一時的に必要であると見込まれる費用	0
	緊急小口資金	緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に貸し付ける小額の費用	156

教育支援資金	教育支援費	高校、大学又は専門学校に就学するに必要な費用	0
	就学支援費	高校、大学又は専門学校への入学に際し必要な経費	0
臨時特例つなぎ資金		失業等で住居を失った方に、公的な貸付や給付が受けられるまでの必要な生活費用	0
不動産担保型生活資金		住宅に住み続けることを希望する高齢者へ不動産を担保として生活資金の貸し付けを行う	0
	合 計 件 数		312

※令和2年度貸付実績 798 件

#### 生活福祉資金貸付相談対応実績（件）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話	31	77	63	55	49	52	44	31	14	16	22	26	480
来所	29	19	16	21	17	9	18	16	5	6	3	9	168
郵便	1	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	5
合計	61	100	82	77	66	61	64	47	19	22	25	35	659

#### （7）生活困窮者自立相談支援事業（H26.7月開始）

生活困窮者の総合的問題（経済的困窮・社会的困窮など）に対して広く相談対応をし、家計の収支全体の改善を図り、個別的・包括的・継続的に支援を行い自立へと繋げた。また、課題解決をする際に、本人を取り巻く地域の力を強化し地域づくりを行い社会資源の開発を図った。

#### 生活困窮者自立相談対応実績（内訳）

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合・貸付相談件数【世帯】	60	65	101	63	56	51	54	37	31	27	33	30	608
新規困窮相談件数【世帯】	28	22	40	12	5	10	15	5	1	3	4	0	145
相談受付(同意件数)【世帯】	6	8	5	2	0	1	3	2	0	4	5	0	36
調整会議(プラン作成)【世帯】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	2	10
プラン作成(同意件数)【世帯】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	2	10
支援終了【世帯】	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	4	1	8
支援回数(就労相談)【世帯】	9	29	7	8	3	4	11	15	13	10	18	9	136

困窮支援回数 【回】	202	233	246	210	188	178	205	180	164	138	174	110	2228	
支援内訳	電話相談・連絡【回】	57	108	93	86	62	53	72	69	47	55	56	40	798
	訪問・同行支援【回】	3	1	2	4	3	13	13	5	7	7	8	6	72
	面談【回】	69	43	77	54	47	40	40	43	28	17	21	18	497
	会議【回】	46	26	20	22	19	16	16	17	22	19	18	12	253
	他機関電話協議【回】	26	52	52	42	51	54	59	45	60	39	71	34	585
	その他【回】	1	3	2	2	6	2	5	1	0	1	0	0	23

#### (8) 生活困窮者家計相談支援事業 (H27.4月開始)

生活困窮者の家計問題に対して広く相談対応をし家計の収支全体の改善を図り、個別的・包括的・継続的に支援を行い自立へと繋げた。

#### 生活困窮者家計相談対応実績（内訳）

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
総合・貸付相談件数【世帯】	2	6	4	4	4	6	5	7	7	4	5	6	60	
新規困窮相談件数【人】	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	
相談受付（同意件数）【人】	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
調整会議（プロトコル作成）【人】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	5	
プロトコル作成（同意件数）【人】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	5	
支援終了【人】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支援回数(家計相談)【回】	13	32	22	11	15	14	15	50	39	45	39	35	330	
支援内訳	電話相談・連絡【回】	4	20	9	3	9	3	8	26	15	26	18	11	152
	訪問・同行支援【回】	0	0	0	0	0	0	0	7	5	1	1	6	20
	面談【回】	3	7	5	5	4	5	5	8	7	3	9	8	69
	会議【回】	5	1	4	1	1	4	1	1	2	4	2	3	29
	他機関電話協議【回】	1	4	4	1	1	2	1	8	10	11	9	7	59

その他 【回】	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(9) 福祉なんでも相談（施設連携）

② 福祉なんでも相談の実施

社会福祉法人の社会貢献活動の一環として29施設が無料の相談窓口を実施した。

相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	3	1	3	8	5	4	3	3	0	1	2	3	36

## 2 人権を守る権利擁護事業

### <1> 権利擁護体制の充実

(1) 日常生活自立支援事業の実施(受託)

認知症や障がい等のために、福祉サービスの利用や日常的金銭管理ができにくい人を支援する事業として県の事業である日常生活自立支援事業を受託して取り組んだ。

相談件数

(1) 認知症高齢者に関すること	485
(2) 知的障がい者に関すること	747
(3) 精神障がい者に関すること	1,401
(4) その他	542
合 計	3,175

契約件数（3月末契約利用者数）（単位：人）

区分	契約利用者数	区分	契約利用者数
認知症高齢者	4	精神障がい者	14
知的障がい者	8	その他の	9
合 計	35		

新規契約件数 5件（認知0件、知的2件、精神0件、その他3件）

契約終了件数 5件（認知1件、知的2件、精神2件、その他0件）

（契約終了の内、成年後見制度への移行は認知1件）

支援回数（単位：回）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R3年度	56	53	54	51	53	52	52	52	50	50	48	53	624
R2年度	55	49	49	46	48	49	54	53	56	52	55	53	619
元年度	73	68	67	70	68	65	72	63	68	59	57	56	786
30年度	77	87	84	79	83	75	83	83	76	77	75	74	953
29年度	89	92	94	85	84	78	77	85	81	81	78	80	1,004

(2) 成年後見制度の普及・促進

成年後見制度が必要とされる方の相談を受け、必要に応じて、申立て支援や専門機関へのつなぎを行った。

相談件数 56 件 成年後見移行件数 1 件

### (3) 市民後見人養成講座の開催

平成 30 年度 11 月「市民後見人養成推進委員会」を立ち上げた後、第 1 期生が「市民後見人養成講座」を受講して以降、現在第 3 期受講生の修了選考まで実施した。

3 市社会福祉協議会にて実務経験を行った講座修了生は、推進委員会による市民後見人候補者名簿登録の選考を経て、市民後見人としの活動を行うことができるようになる。現在第 1 期生の登録名簿選考を実施。

養成講座は 1 期菊川市（平成 30 年度実施済）、2 期御前崎市（令和元年度～実施済）、3 期掛川市（令和 2 年度実施済）。

- ① 東遠地域市民後見人養成推進委員会ワーキング 3 回実施
  - ・4/22（木）中核機関の機能について検討
  - ・6/7（月）中核機関の機能について検討
  - ・10/4（月）中核機関の予算、候補者依頼、受任調整会議、後見人報酬について検討
- ② 東遠地域市民後見人養成推進委員会 5 回実施
  - ・5/10（月）中核機関に向けた検討、3 市の法人後見進捗状況等報告
  - ・7/12（月）中核機関に向けた検討、3 市の法人後見進捗状況等報告
  - ・9/17（金）中核機関に向けた検討、3 市の法人後見進捗状況等報告
  - ・11/15（月）中核機関に向けた検討、3 市の法人後見進捗状況等報告
  - ・2/9（水）中核機関に向けた検討、3 市の法人後見進捗状況等報告
- ③ 第 2 期生市民後見人推薦名簿登録審査
- ④ 東遠地域市民後見人第 3 期生 日常生活自立支援事業生活支援員実務研修（1 年間）実施
- ⑤ 家庭裁判所との意見交換 7/21、3/4（3 市行政・3 市社協）

### (4) 福祉サービス等における苦情の受付・対応

福祉サービスにおける苦情受付の担当者を設置し、対応した。

- ① 苦情受付件数 5 件
  - （内訳）職員の対応等に対して 5 件
  - 福祉サービスの提供に対して 0 件
- ② 苦情解決第三者委員の調整を必要とした苦情 0 件

## 3 生活を守る在宅サービスの充実

### <1> 生活支援サービスの充実

#### (1) 障がい福祉サービス事業の実施（居宅介護：身体、知的、児童、精神、同行）

障害者総合支援法に基づく自立支援事業所として、身体、知的、精神障がい者及び児童のお宅に伺い、入浴、排せつ、食事等の介護を行った。同行援護については視覚障がい者に対し、外出支援を行った。

### 事業状況

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
身体	利用者数	14	14	13	13	13	13	12	14	14	13	14	14	161
	訪問回数	119	106	116	106	108	110	104	124	110	104	107	105	1319
知的	利用者数	6	5	7	7	6	7	7	7	7	7	6	7	79
	訪問回数	27	25	34	35	31	33	33	32	32	32	28	35	377
児童	利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	訪問回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	23
精神	利用者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	訪問回数	19	14	19	18	19	17	17	18	19	18	15	20	213
同行	利用者数	14	14	17	18	12	12	18	18	18	15	15	18	189
	訪問回数	49	38	53	55	40	43	55	59	55	46	48	54	595

### 東遠地域自立支援協議会居宅訪問部会

令和3年度はコロナ感染防止のため居宅部会の開催は見送られた。

#### (2) 移動支援事業の実施(受託)

全身性障がい者、知的障がい者、障がい児及び精神障がい者に対して外出時の移動の支援を行い、地域における自立生活及び社会参加を促進し、福祉の増進につなげた。

### 事業状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	4	4	3	4	4	4	4	5	4	6	4	5	51
回 数	6	5	5	7	5	7	8	10	8	8	8	13	90

#### (3) 難病患者訪問介護事業の実施(受託)

令和3年度は利用者なし。

### <2> 外出支援の充実

#### (1) 車いす貸出事業の実施

介護保険に該当しない高齢者や怪我・障がい等で一時的に車いすを必要とする方に車いすの貸し出しを行った。ふくしあ（西部、東部、中部、南部大東、南部大須賀）でも貸し出しを行っており、利用者の利便を図っている。

### 貸し出し利用件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本 所	17	17	31	28	22	21	34	33	24	18	13	25	283
東 部	0	0	1	2	1	0	2	0	2	3	1	2	14
中 部	5	5	5	3	3	4	3	3	4	6	9	5	55
西 部	2	2	2	2	3	3	4	3	2	4	3	3	33
大 東	15	14	20	22	11	20	22	19	15	10	16	10	194
大 須 賀	5	5	14	21	6	8	11	14	11	7	12	11	125
合 計	44	43	73	78	46	56	76	72	58	48	54	56	704

## (2) 福祉車両貸出事業の実施

既存の交通機関を利用する事が困難な障がい者や高齢者の車いす利用者の社会参加を支援するため、福祉車両（車いす用リフト付き車両）の貸し出しを行った。

本 所	3 台	西部ふくしあ	1 台	中部ふくしあ	1 台
大東ふくしあ	2 台	大須賀ふくしあ	1 台		

### 貸し出し利用件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本 所	9	15	14	21	7	7	18	14	16	13	4	24	162
中 部	9	7	11	7	3	6	9	13	6	11	9	11	102
西 部	3	1	2	1	0	1	5	0	1	2	4	5	25
大 東	7	9	12	20	11	22	20	19	14	17	11	6	168
大 須 賀	4	1	9	9	7	5	11	10	10	10	6	6	88
合 計	32	33	48	58	28	41	63	56	47	53	34	52	545

## 4 安心を支える災害時対応支援事業

### <1> 緊急時・災害時支援体制の確立

#### (1) 災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの検証と体制整備

「災害 VC 掛川」及び行政と連携し、防災訓練と合せて災害ボランティアセンター設置訓練を実施し、運営マニュアルの検証を行うとともに、体制の整備を図る。また、防災担当者を係ごとに配置し、社協防災担当者会議を開き、マニュアルの検証を図った。

(災害ボランティアセンター設置訓練)

「掛川市災害ボランティアセンター立上げ・運営マニュアル検証」

日 時 令和 3 年 8 月 29 日 (日) 新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止。

(社協防災事務局会議)

日 時

第 1 回	令和 3 年 4 月 20 日	(火)
第 2 回	令和 3 年 4 月 28 日	(水)
第 3 回	令和 3 年 6 月 16 日	(水)
第 4 回	令和 3 年 6 月 23 日	(水)
第 5 回	令和 3 年 7 月 6 日	(火)
第 6 回	令和 3 年 7 月 12 日	(月)
第 7 回	令和 3 年 11 月 9 日	(火)
第 8 回	令和 3 年 11 月 15 日	(月)

参加者 防災事務局 6 人

内 容 災害ボランティアセンターマニュアルの検証・赤い羽根助成による防災倉庫の設置・防災倉庫の備品整備

(社協防災委員会)

日 時

第 1 回	令和 3 年 7 月 29 日	(木)
第 2 回	令和 3 年 8 月 18 日	(水)

第3回 令和3年 12月 21日 (火)  
第4回 令和4年 1月 25日 (火)  
第5回 令和4年 2月 21日 (月)

参加者 防災委員 10人

内 容 社協防災マニュアルの作成（災害ボランティアセンターマニュアル）  
ICT導入に関する意見交換

## (2) 災害ボランティアグループとの連携

「災害 VC 掛川」との情報交換に努めた。また、熊本大震災の被災者・避難者支援に取り組む団体に対し、事業実施のための情報提供や広報、後援等の協力を行った。  
(災害 VC 掛川)

・災害 VC 掛川の毎月の定例会に参加。

令和3年 4月 16日(金)・5月 21日(金)・6月 18日(金)・7月 16日(金)・10月  
15日(金)・11月 19日(金)・12月 17日(金)・1月 21日(金)・3月 18日(金)  
(コロナ禍により年12回の定例会を9回のみ開催とした。)

・令和3年 12月 17日(金)～18日(土)

静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練参加についての連絡調整・参加。

## (3) 災害ボランティア講座の実施

「静岡県内で発災した際に備え、日頃より災害時のボランティア活動や被災者の状況を理解し、地域での受援力を高めることが大切となる。本講座では講義やゲームをとおして、掛川市内に設置される災害ボランティアセンターの役割と運営方法について理解し、全国から駆けつけるボランティア支援希望者と被災された市内の地域住民をつなぐことのできる運営支援者を育成することを目的に開催した。」

ふじのくに災害ボランティアコーディネーター養成講座

令和3年 11月 27日 (土) 10:00～16:30

参加者 市民7人、県社協2人、市危機管理課2人、災害 VC 掛川4人、  
職員4人 災害ボランティア団体2人 計21人

## (4) 災害時協定に基づく被災地への職員派遣

令和3年7月に静岡県東部地域で発生した豪雨災害において、県内3市で災害ボランティアセンター（地域ささえあいセンター）が設置され、当会から応援職員を派遣した。

派遣回数2回、派遣人数2人

① 日 時：令和3年7月13日(火)～7月15日(木)まで

場 所：熱海市総合福祉センター6階熱海市災害ボランティアセンター

② 日 時：令和3年8月10日(火)～8月12日(木)

場 所：熱海市総合福祉センター 伊豆山海公園サテライト

## (5) 災害時協定の締結

災害時応急対応活動として行う、センターの設置及びそれに伴うボランティア活動を円滑に実施するために、災害協定を締結した。

締結先：掛川市

令和4年3月29日(火) 協定締結式実施

## 第2 ともに支えるまちづくり

### 1 居場所とつながりをつくる当事者活動支援事業

#### <1> 当事者組織の活動支援

##### (1) 在宅介護者の会への支援(事務局)

在宅で介護をしている方の介護疲れのリフレッシュを図るため、在宅介護者の会が実施する活動を支援した。

会員数 17人

##### (2) 在宅介護者支援事業の実施(受託)

###### ① 研修会の実施

介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等についての知識・技術を習得するための講演会、介護教室等の研修会を計画したが、新型コロナウイルス感染症予防、感染状況を鑑み中止とした。

###### ア 講演会

実施予定だったが計画時に新型コロナウイルス感染症予防のため中止とした。

###### イ 介護教室

計画したが新型コロナウイルス感染症予防のため講師派遣がなくなり中止した。

日 時 令和4年1月21日(金)13:30~15:00

場 所 総合福祉センター 教養会議室

内 容 家庭での救急法

###### ② 家族介護者交流事業の実施

在宅介護者が、介護から一時的に開放され、心身の元気回復することを目的にリフレッシュの会や施設見学などの介護者相互の交流会を計画した。

新型コロナウイルス感染拡大予防のため市内でのリフレッシュの会を実施し、施設見学、介護者交流会については中止とした。

###### ア 在宅介護者の集いの実施

###### (ア) リフレッシュの会 ※対象は市全域

日 時 令和3年11月26日(金)13:00~16:30

場 所 永福寺、サンサンファーム

参加者 在宅介護家族の会会員13人、一般1人 計14人

###### (イ) 施設見学 ※対象は市全域

計画したが新型コロナウイルス感染症予防のため中止した。

日 時 令和3年9月17日(金)9:00~15:00

場 所 浜松市方面

###### イ 介護者交流会

新型コロナウイルス感染症予防のため中止した。

※計画内容

日 時 令和3年3月4日(金)13:30~15:00

場 所 総合福祉センター

### (3) 介護継続支援事業の実施

#### ①笑顔のつどい

毎月1回2会場にて、物忘が気になる家族を介護している方を対象に、お互いの悩みの相談、情報交換をする交流会を開催し、精神的負担の軽減を図った。また、地域包括支援センターや長寿推進課との連携のもと、介護に役立つ情報提供やサービス利用を促した。

#### 北部会場(総合福祉センター)

開催日	内 容	参加人数
4月30日	おしゃべりサロン	13 (4)
5月28日	おしゃべりサロン	15 (3)
6月25日	おしゃべりサロン	8 (2)
7月30日	おしゃべりサロン	10 (2)
8月27日	ヨガ(講師:越水律子氏) ※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	—
9月17日	おしゃべりサロン ※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	—
10月29日	おしゃべりサロン	11 (2)
11月26日	おしゃべりサロン	7 (2)
12月24日	おしゃべりサロン	12 (3)
1月28日	おしゃべりサロン	7 (1)
2月25日	ボディトーク(講師:柴美重子氏) ※まん延防止等重点措置発令によりおしゃべりに変更	6 (3)
3月25日	おしゃべりサロン	10 (2)
合 計		99 (24)

※( )…参加者のうち講師、ボランティア、市職員、包括職員、社協職員など

#### 南部会場(偶数月:大須賀市民交流センター・奇数月:大東市民交流センター)

開催日	内 容	参加人数
4月14日	おしゃべりサロン、御衣黄(ぎょいこう)散策	8 (3)
5月12日	おしゃべりサロン	8 (3)
6月9日	おしゃべりサロン	9 (2)
7月14日	おしゃべりサロン	7 (2)
8月11日	おしゃべりサロン	4 (2)
9月8日	おしゃべりサロン ※新型コロナウイルス感染拡大のため中止	—
10月13日	おしゃべりサロン ※新型コロナウイルス感染拡大のため中止	—
11月10日	おしゃべりサロン	11 (6)
12月8日	おしゃべりサロン、ヨガ	8 (4)

1月 12日	おしゃべりサロン	3 (2)
2月 9日	おしゃべりサロン、工作	3 (2)
3月 9日	おしゃべりサロン	8 (6)
	合 計	69 (32)

※ ( ) …講師、ボランティア、市職員、包括職員、社協職員など

#### (4) 認知症家族介護継続支援事業の実施

##### ①認知症カフェ（茶のみやカフェ）

毎月1回2会場にて、認知症の方や介護されているご家族、また関心のある方を対象に、認知症カフェを実施し、認知症になっても気軽に参加できる交流の場の機会を図った。また、地域包括支援センターとの連携のもと、介護に役立つ情報提供やサービス利用を促した。

#### 城下店（掛川中央図書館）

開催日	内 容	参加人数
4月 13日	おしゃべりサロン	14 (10)
5月 11日	おしゃべりサロン	15 (9)
6月 8日	おしゃべりサロン	9 (4)
7月 13日	おしゃべりサロン	6 (4)
8月 3日	おしゃべりサロン	11 (5)
9月 14日	おしゃべりサロン ※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	—
10月 21日	おしゃべりサロン	8 (6)
11月 9日	おしゃべりサロン	5 (3)
12月 14日	おしゃべりサロン	14 (7)
1月 11日	おしゃべりサロン	11 (3)
2月 8日	おしゃべりサロン	19 (11)
3月 8日	おしゃべりサロン	15 (7)
	合 計	127 (69)

※ ( ) …講師、ボランティア、市職員、包括職員、社協職員など

#### 大東なかよし店（大東図書館）

開催日	内 容	参加人数
4月 28日	おしゃべりサロン	8 (5)
5月 26日	おしゃべりサロン、展示物作成、絵本紹介（図書館職員）	8 (4)
6月 23日	おしゃべりサロン、展示物作成、絵本・書籍紹介（図書館職員）	6 (4)
7月 28日	おしゃべりサロン、展示物作成、ポッチャ体験	7 (5)

8月 25日	おしゃべりサロン	※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	一
9月 22日	おしゃべりサロン	※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	一
10月 13日	おしゃべりサロン		4 (2)
11月 24日	おしゃべりサロン		8 (4)
12月 22日	おしゃべりサロン、工作		5 (3)
1月 26日	おしゃべりサロン	※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	一
2月 24日	おしゃべりサロン		5 (3)
3月 23日	おしゃべりサロン		9 (4)
合 計			60 (34)

※ ( ) …講師、ボランティア、市職員、包括職員、社協職員など

#### (4) 認知症介護家族の組織化への支援

認知症介護家族交流事業の実施に合わせ、仲間づくりを進めた。

#### (5) 当事者団体への活動支援

障がい者他、各種当事者団体と連携を取り、事業の周知協力等活動の支援に努めた。

### <2> ひきこもり支援事業

平成 26 年度より、ひきこもり当事者やご家族の支援を目的としたひきこもり者支援事業をスタートさせた。当事者や家族の声を聞き、その声に寄り添いながら支援を展開した。

#### (1) ひきこもり者相談・家族支援

##### ① 学習会サロン

ひきこもり当事者のご家族を対象に NPO 法人サンフォレスト代表 三森重則 氏をアドバイザーとして迎え、学習会サロンを年 4 回開催した。

#### <学習内容>

月 日	内容
4月 18日	ひきこもり？「ひきこもりからの立ち直り」って何 ～解決へのステップ～
6月 20日	「会話復活にもステップがある」～親子関係を良くする事がひきこもり脱出の近道～
8月 22日	(新型コロナウイルス感染拡大により中止)
12月 19日	強いこだわりについて
2月 20日	家族が元気に当事者と関わる（ひきこもりの回復は親子関係の改善から）

##### ② おしゃべり会

ひきこもり当事者ご家族を対象に、参加者同士が近況を確認し、悩みを共有する場として年 5 回開催した。当事者家族ならではの悩みを話すことで、精神的支えに繋がっている。

また、講演会などの情報提供を行っている。コロナ禍で Zoom による講演会が増えており、参加者が自宅でも参加できるよう、社協職員による「Zoom の使い方について」を実施した。

開催日時 13:30～15:30  
 5月8日、7月10日、11月13日、1月22日、3月5日  
 (9月は新型コロナウイルス感染拡大により中止)

### ③ グループカウンセリング

アドバイザーのNPO法人サンフォレスト 代表 三森重則氏の協力のもと、学習会サロン・おしゃべり会の参加者を対象に年1回開催。一人20～30分を目安に参加者の状況とアドバイスを聞くことで、お互いの対応について参考にできる場として、平成27年度から開催している。

開催日 令和3年10月24日（日） 午前の部（5世帯）／9時00分～11時15分  
 午後の部（5世帯）／13時30分～16時15分

### <R3年度 年間活動事業実績について>

家族活動実績表

事業名/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
学習会サロン	11		11		中止				8		5		35
おしゃべり会		7		7		中止		6		6		5	31
グループカウンセリング							11						11

※家族を対象とした学習会サロン（5回）とおしゃべり会（6回）は、隔月交互に実施  
 新型コロナウイルス感染拡大により、学習会8月、おしゃべり会9月は中止とした

### ④ 個別相談

社協本所または市内5ヶ所の「ふくしあ」（地域健康医療支援センター）において随時対応した。  
 ご家族のみの面談、ご家族と当事者、当事者のみなど必要に応じて対応している。  
 面談会場は相談者の希望により決定している。必要に応じて、各ふくしあの行政保健師の同席も行っている。

### <相談受付箇所>

相談先	電話番号	住所
社協 本所	0537-22-1294	掛川市掛川910-1
東部ふくしあ	0537-23-4720	掛川市蘭ヶ谷881-1
中部ふくしあ	0537-28-8546	掛川市杉谷南1-1-30
西部ふくしあ	0537-29-6192	掛川市下垂木1270-2
大東ふくしあ	0537-71-1135	掛川市三俣620
大須賀ふくしあ	0537-48-5531	掛川市に市大渕100

### <R3年度相談実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本人	11	12	7	6	9	11	11	9	9	9	6	7	107
家族	8	9	8	9	6	8	10	7	5	13	14	13	110
専門職 (関係機関)	2	10	8	3	3	2	5	6	5	7	6	9	66
合計	21	31	23	18	18	21	26	22	19	29	26	29	283

2月末までの実人数：本人／12人 家族／23人 専門職（関係機関）／15機関

### (2) ひきこもりに関する普及啓発・情報発信

#### ① ひきこもり者支援啓発講演会

市民に対するひきこもり者への理解を啓発することにより、地域で暮らす当事者家族が安心して暮らせる目的とし開催している。

今年度は、ひきこもりUX会議の共同代表理事林恭子氏、川初伸吾氏、室井舞花氏を講師に体験談『ひきこもるこころを理解する』をテーマに「ひきこもり大学」を開催し、講演とグループワークを実施した。

日 時 令和 3 年 10 月 30 日(土) 13:00~16:00  
会 場 掛川商工会館 大会議室  
参加者 12 人

### (3) ひきこもり者居場所支援

#### ① 「かけがわ ほっとほっとMAP」(ひきこもり者支援マップ) 作成

近隣の機関・団体等社会資源の情報を整理し、当事者・家族への情報提供と共に、関係機関団体における支援ネットワークを強化することを目的として平成 27 年度作成。平成 28 年度から、市内における不登校・ひきこもりの深化を防ぐため、義務教育が終了する市内全中学 3 年生に卒業式直前に配布している。今年度は内容を改訂の上、増刷配布した。

#### ② 「フリースペース」(ひきこもり者居場所支援事業)

学習会サロン、おしゃべり会、本所やふくしあにて個別対応をするなかで就労支援や学習支援以に、本人が気軽に利用できる居場所支援が必要であると考え、平成 29 年 10 月より、地域若者サポートステーションと共にひきこもり者の居場所を開設した。

日 時 每月第 4 水曜日 13:30~16:00  
会 場 掛川市総合福祉センターあいり～な 旧かざぐるま  
対 象 15 歳以上(中学卒業)  
内 容 お茶・読書・ゲームなど自分の好きなこと  
共 催 地域若者サポートステーションかけがわ

#### <R3 年度 参加者実績>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5	3	5	6	中止	中止	3	2	1	2	2	2	31

※新型コロナウイルス感染拡大により、8月・9月は中止とした。

11人が参加。就労が決定した方も、参加しておりピア活動的に発展してきている。

#### ③ 「ふらっとスペース」(発達ひきこもり者居場所支援事業)への協力

静岡県発達支援コーディネーターが主催する若年層(おおむね 15 歳~23 歳)の発達特性のあるひきこもり者の居場所が新規開設され、運営に協力した。

開催日 令和 2 年 2 月~ 毎週木曜日 13:00~16:30  
会 場 掛川市総合福祉センターあいり～な 東館 2 階 相談室  
対 象 おおむね 15 歳~23 歳 / 事前に面談・見学必須  
内 容 お茶・読書・ゲームなど自分の好きなこと  
主 催 東遠学園組合 東遠地区生活支援センター

#### <R3 年度 参加者実績>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	11	10	8	7	中止	12	12	11	8	11	11	105

※新型コロナウイルス感染拡大により、9月は中止とした。

### (4) ひきこもり対策協議会へ指定支援機関としての参画

掛川市もひきこもり者支援活動を本格的に開始し、令和 2 年 12 月 25 日(金)に「掛川市

ひきこもり対策協議会」が設置された。当会はこれまでの実績が評価され「指定支援機関」の位置づけで協議会に参画することになった。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、第2回実務者会議が延期を余儀なくされ、代表者会議と同時開催となった。

実務者会議	令和3年8月12日（木）10:00～	掛川市役所
ひきこもり講演会	令和4年2月4日（金）14:00～	掛川市役所
実務者会議・代表者会議	令和4年3月23日（水）10:00～	大須賀市民交流センター

#### ①常設型居場所の検討

掛川市ひきこもり者支援対策協議会の中で、義務教育終了後のひきこもりの方の常設型の居場所がないことが課題として出され、関係機関と検討を計7回行った。

#### 打合せ実施日

令和3年	9月	27日	(月)	13:20～	社会福祉協議会	教養会議室
令和3年	9月	28日	(火)	15:20～	旧かざぐるま	
令和3年	10月	1日	(金)	13:00～	旧かざぐるま	
令和4年	2月	3日	(木)	13:30～	旧かざぐるま	
令和4年	3月	1日	(火)	8:45～	掛川市役所	
令和4年	3月	8日	(火)	13:30～	掛川市役所	
令和4年	3月	15日	(火)	13:30～	掛川市役所	

### <3> 障がい児(者)との交流活動

#### (1) 青年学級の実施（障がい者サロン 2会場・毎月）

心身に障がいを持つ青年層が休日の余暇を充実させる目的に仲間との出会いの場として学級を2会場で開催した。運営はボランティアスタッフの協力を得て行った。

##### ① この指とまれ（掛川区域）

会場：掛川市総合福祉センター 教養会議室他

##### 内容

開催日	プログラム	講師・ゲスト	参加人数
4月 11日	顔合わせ／7月9月の計画を立てよう	—	33
5月 9日	パステルアート	—	31
6月 13日	ミニ運動会	—	25
7月 11日	ボッチャ	—	33
8月 1日	絵はがき	—	31
9月 12日	フライングディスク	—	※中止
10月 17日	ヨガ	山田祥子氏	30
11月 13日	ボッチャ	—	23
12月 12日	クリスマス会	—	29
1月 16日	ウォーキング＆初詣	—	28
2月 6日	掛川工業高校ギター部との交流	—	※中止

3月 13日	フライングディスク	一	28
	合 計		291

② 四つ葉の会（大東・大須賀区域）

会場：大東市民交流センター・大須賀市民交流センター他

内容

開催日	プロ グ ラ ム	講師・ゲスト	参加人数
4月 11日	顔合わせ&7月・9月の計画を立てよう！	—	18
5月 9日	ウォーキング	—	18
6月 6日	ミニ運動会	—	27
7月 11日	パズル	—	24
8月 1日	レクリエーション	—	20
9月 12日	ぬり絵	—	※中止
10月 24日	ちっちゃな文化展に行こう！	—	34
11月 21日	キョーちゃんダンスを覚えよう	—	26
12月 20日	クリスマス会	プリティウイメン& ファンタスティックフレンズ	50
1月 16日	ボウリング	—	29
2月 6日	3B体操	飯田 英子	※中止
3月 13日	ヨガ	山田 祥子	18
	合 計		264

(2) ほっとほっとサロン実施(精神障がい者余暇活動支援、北・南2会場、毎月各1回)

仕事や作業所等が休日となる土曜日を利用して、精神障がい者の余暇活動支援事業を開催。社会参加と自立を促す活動となっている。仲間とのコミュニケーションを楽しながら、ほっとした一時を過ごす余暇活動の居場所として、北会場・南会場で実施した。

参加者：当事者・市民・ボランティア・民生委員など

協 力：NPO法人ジョイントサークル「かたくり」

時 間：10：45～14：00

北会場：掛川市つくし会館

開催日	内 容	参加人数
4月 10日	おしゃべり ※カレー、サラダ、牛乳かん	33
5月 15日	中止 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため	—
6月 12日	中止 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため	—
7月 17日	中止 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため	—
8月 21日	中止 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため	—
9月 11日	中止 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため	—

10月 2日	中止 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため	—
11月 6日	レクリエーション ※弁当持ち帰り	25
12月 11日	レクリエーション ※弁当持ち帰り	22
1月 15日	レクリエーション ※弁当持ち帰り	23
2月 5日	中止 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため	—
3月 12日	中止 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため	—
合 計		103

#### 南会場：大須賀中央公民館

開催日	内 容	参加人数
4月 10日	おしゃべり ※カレー、サラダ	15
5月 8日	おしゃべり ※かき揚げうどん、みつまめ	12
6月 12日	中止 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため	—
7月 10日	中止 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため	—
8月 14日	中止 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため	—
9月 11日	中止 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため	—
10月 23日	おしゃべり ※弁当持ち帰り	10
11月 13日	おしゃべり ※弁当持ち帰り	9
12月 11日	おしゃべり ※パスタ、スープ、ケーキ	12
1月 8日	おしゃべり ※お好み焼き、サラダ、スープ	13
2月 26日	中止 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため	—
3月 12日	中止 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため	—
合 計		71

## 2 高齢者の社会参加を支援する事業

### <1> 高齢者の社会参加促進

#### (1) 高齢者ふれあい・いきいきサロンの普及・推進支援

- 高齢者サロンの立ち上げ、運営の支援
- 各地区で取り組まれる高齢者サロンの実施支援  
※取り組み状況（定期的開催：年10回以上）

高齢者サロン数 66会場（令和3年4月調査）  
複合サロン数（対象が広範囲）16会場（　　〃　　）  
サロンへは、特別助成金事業で活動費の助成をして支援している。

#### (2) サロンボランティア情報交換会の実施

##### ① 大東エリアサロン情報交換会

日 時 令和3年6月21日(月) 19:00～21:00

会 場 大東市民交流センター 会議室

参加者 27人  
 内 容 ボッチャを体験してみよう  
 グループワーク意見交換

### (3) 高齢者の生きがい活動拠点事業の実施(受託) (22世紀の丘公園コミュニティセンター)

掛川市22世紀の丘公園コミュニティセンター「たまりーな」を活動拠点として、高齢者の生きがいづくり事業の推進を図った。

#### たまりーな利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	58	62	63	52	45	13	58	64	67	49	25	51	607
人数	673	904	918	579	431	120	661	846	1190	554	244	672	7792

#### 高齢者の教室・自主クラブ

クラブ	カラオケ	ダンス	銭太鼓	絵手紙	淡墨の会	水墨画	写真	太極拳
開催回数	4	38	21	34	20	17	11	22
参加人数	32	483	80	418	188	162	68	125
クラブ	ダンスコスモス	ステップワン	ウクレレ	エアピクス	布ぞうり	オカリナ	折り紙	生き活き
開催回数	24	37	20	18	11	21	16	21
参加人数	166	452	193	634	65	145	80	383
クラブ	なつかしの歌を唄う会	手芸	ハーモニカ	舞踊	パソコン	ディスコン	書道	ボディコン
開催回数	0	7	19	14	18	11	24	15
参加人数	0	42	197	66	215	98	329	131
クラブ	将棋	囲碁	合計	カラオケ教室は、役員会のみ開催				
開催回数	19	19	481					
参加人数	204	242	5198					

### (4) 掛川市シニアクラブ連合会への支援

#### ① シニアクラブ掛川と各支部との連携・活動支援

シニアクラブ会員 5,050人の事務局として、掛川・大東・大須賀支部の連携を図り、各支部相互の調整・親睦に努めた。

##### ・運営事業

正副会長会 9回・理事会4回・評議委員会4回

監事會1回

##### ・第13回シニアクラブ掛川の輪投げ大会の開催

日時 令和3年11月19日(金) 会場 南体育館しーすぽ

参加者 82人 チーム数10(掛川支部4 大東支部4 大須賀支部2)

##### ・第17回掛川市シニアクラブ大会の開催

日 時 令和3年11月13日(土) 13:00~15:00

会 場 掛川市文化会館 シオーネ

参加者 会長・理事・評議員・来賓・被表彰者・横須賀高校関係者 計178名

内 容 功労者表彰・横須賀高校郷土芸能部による「三社祭礼囃子」

##### ・シニアクラブ静岡県主催事業への参加

(理事会・評議委員会・女性委員会・若手委員会・単老会長新任会長会・

グラウンドゴルフ大会・輪投げ大会・いきいき創造広場)

##### ・関係機関・団体活動への参加・協力

## ② シニアクラブ掛川・掛川支部への活動支援

掛川支部会員 2,129 人の事務局として、支部活動の支援を行うとともに大東・大須賀支部との親睦交流・情報交換に努めた。

- ・正副支部長会 8 回、理事会 8 回、評議員会 1 回、監事會 1 回の開催。
- ・広報誌「シニアクラブ掛川・掛川支部だより」を発行。区長会に協力要請し、旧掛川市内全戸に回覧した。
- ・支部版「加入促進パンフレット」を活用し、シニアクラブ活動を周知した。
- ・支部情報による情報提供。
- ・輪投げ大会（24 チーム・165 人参加）
- ・地区グラウンドゴルフ大会（参加者 339 人）
- ・支部グラウンドゴルフ大会（参加者 135 人）
- ・健康講演会は感染症対策として中止
- ・単位クラブでの「自立体力テスト」の実施
- ・単位クラブへの「自立体力プログラム」の指導
- ・文化祭作品展（出品作品数 79 点）
- ・演芸大会（出演者数 歌の部 25 人 演芸の部 23 組 70 人）
- ・高齢者相互支援推進活動を実施。（安否確認・話し相手等を中心に実施）  
　　要支援対象者 481 人　　活動実施回数 7,040 回
- ・配偶者のいない会員を対象に「ひとり身会」の開催
- ・長寿者表彰の実施　　喜寿・米寿・白寿・金婚・ダイヤ婚 30 組 226 人
- ・レクリエーションダンス講習会の開催 1 回 参加者 23 人
- ・レクリエーションダンスクラブ（会員 30 人 月 1 回開催）
- ・掛川支部ゴルフ大会の開催 参加者 70 人
- ・ノルディックウォーク講習会の実施 参加者 27 人
- ・ノルディックウォーキングの開催 参加者 17 人
- ・社会奉仕活動の実施。地域の清掃、樹木の手入れ、花壇の管理等、2,829 人
- ・公共施設に 雑巾、タオル、石けん等の寄贈を行なった。

## ③ シニアクラブ掛川・大東支部への活動支援

（4 月～12 月 1 月以降は中部ビル保善株式会社へ業務委託）

大東支部会員 2,316 人の事務局として、支部活動の支援を行うとともに掛川・大須賀支部との親睦交流・情報交換に努めた。

- ・三役会 12 回、支部理事会 10 回、評議員会 9 回、女性部役員会 4 回の開催
- ・広報誌「大東支部だより」を発行
- ・高齢者相互支援推進事業（友愛訪問活動）の実施  
　　要支援対象者（一人暮らし・長寿・虚弱など）239 人
- ・社会奉仕活動の実施活動実施 17 クラブ 延べ人数 1,135 人
- ・女性親睦グランプリ・ゴルフ交流大会（大東 G ゴルフ協会共同開催）99 人
- ・支部長杯グランプリ・ゴルフ大会 117 人
- ・個人戦グランプリ・ゴルフ大会 145 人
- ・輪投げ大会 18 チーム 138 人
- ・娯楽事業（大東寄席） 278 人
- ・レクリエーションダンス講習会 42 人
- ・若手委員ノルディックウォーク研修会 61 人

- ・環境美化運動（アルミ缶）支部理事数名
- ・老人福祉センター山王荘年末大掃除 30人

**④ シニアクラブ掛川・大須賀支部への活動支援**

（4月～12月 1月以降は中部ビル保善株式会社へ業務委託）

大須賀支部会員 605人の事務局として、支部活動の支援を行うとともに掛川・大東支部との親睦交流・情報交換に努めた。

- ・支部理事会 9回、定例会 9回、総会 1回、会計監査会 1回の開催
- ・友愛訪問活動の実施（話し相手等を中心に実施）要支援対象者 3人
- ・輪投げ大会の開催 1回 56人
- ・女性部会の開催 2回 20人
- ・環境美化運動 3回 62人
- ・高齢者料理教室 3回 35人
- ・ふれあい作品展 1回 78人
- ・健康教室 1回 20人
- ・グラウンドゴルフ大会 2回 75人
- ・輪投げ練習会 1回 22人
- ・趣味クラブ代表者会 1回 21人
- ・友愛訪問研修会 1回 13人
- ・老人福祉施設訪問 1回 4人
- ・老人福祉センター年末大掃除 1回 11人
- ・レクダンス講習会 2回 52人
- ・子育て支援事業の実施

小学校登下校時見守り活動（横須賀小学校地区、大渕小学校地区）

**⑤掛川支部・大東支部・大須賀支部への共通の活動支援**

- ・シニアクラブ掛川主催行事への参加

（シニアクラブ大会、輪投げ大会、クラブ活動推進相談員研修会、正副会長会、理事会、評議員会、女性部交流会）

**⑥シニアクラブあり方意見交換会への参加**

シニアクラブ、市長寿推進課、社協で今後のシニアクラブのあり方を検討する場で意見交換をした。

月 日	内 容
8月 27日 (水)	シニアクラブの在り方について
12月 15日 (金)	シニアクラブ事務局体制について シニアクラブの在り方について
3月 24日 (木)	他市の状況について 生活支援コーディネーターの制度紹介について

**<2> 生きがい活動支援**

**(1) 生きがい活動支援通所事業の実施(受託)**

（掛川区域 2箇所 大東区域 11箇所 大須賀区域 4箇所）

介護保険の対象にならない家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、必要に応じて送

迎を行い、健康体操、教養講座、レクリエーション、趣味活動、創作活動等の生きがいづくりや介護予防のためのサービスを提供した。

送迎については、12月22日に中部電力株式会社から各生きデイに配備していただいたハイエースでの送迎運行を開始した。

令和4年1月からは大東・大須賀生きがいデイサービスの拠点をそれぞれ南部大東ふくしあ、南部大須賀ふくしあに移動し、包括、ふくしあとの連携をより強化し高齢者におけるフレイル予防、生きがいづくりの強化体制を整えた。

### ① 掛川区域

桜木生きがいデイサービスセンター

東部生きがいデイサービスセンター

実施日 月曜日～金曜日（土・日祭日休館）

時間 10:00～12:00

利用料 400円

登録者数（人）

令和4年3月31日現在

区分	男性登録者	女性登録者	合計
桜木	2	117	119
東部	3	108	111
合計	5	225	230

2箇所の月別利用者数（人）

8月20日から10月8日まで新型コロナウイルス拡大予防の為活動休止

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
桜木	242	206	263	194	122	0	158	217	192	188	186	227	2,195
東部	222	186	229	203	108	0	169	193	205	190	168	225	2,098
合計	464	392	492	397	230	0	327	410	397	378	354	452	4,293

### ②大東区域 老人福祉センター山王荘や11ヶ所の地域の公会堂等で実施

実施日 月曜日～金曜日

時間 10:00～12:00 10:00～11:30（山王荘開催）

利用料 400円

実施日及び登録者数（人）

令和4年3月31日現在

実施場所（11箇所）	実施日	男性登録者	女性登録者	合計
①烟ヶ谷集会所/川久保集会所	第4月曜日	0	11	11
②嶺向公会堂	第2月曜日	0	5	5
③上土方コミュニティセンター	第2・4火曜日	0	15	15
④老人福祉センター山王荘(男性)	第1・3月曜日	6	0	6
⑤佐東公民館	第1・3・5火曜日	0	3	3
⑥老人福祉センター山王荘(大坂・睦浜)	毎週水曜日	0	14	14
⑦千浜会館	第1水曜日	0	0	0
⑧国浜コミュニティ防災センター	第2・4木曜日	0	10	10
⑨千浜農村環境改善センター	第1・3木曜日	0	15	15
⑩菊浜集落センター	第2・4金曜日	0	6	6
⑪中コミュニティ防災センター	第1・3金曜日	0	13	13
合 計		6	92	98

※ ④は男性のみを受け入れ

#### 11箇所各生きデイの月別利用者数(人)

8月20日から10月8日まで新型コロナウイルス拡大予防の為活動休止

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①	12	13	11	12	0	0	11	10	10	9	8	9	105
②	4	5	4	5	5	0	5	5	5	3	4	5	50
③	30	29	26	21	11	0	28	11	12	13	22	26	229
④	9	10	8	5	4	0	4	9	10	4	10	5	78
⑤	7	4	12	5	6	0	3	7	6	3	6	9	68
⑥	46	30	42	36	20	0	36	36	48	48	37	42	421
⑦	3	3	4	3	3	0	0	3	3	3	4	0	29
⑧	21	21	22	9	9	0	18	18	17	12	13	14	174
⑨	28	27	30	20	15	0	13	23	24	22	21	18	241
⑩	11	7	11	6	5	0	6	9	11	9	8	8	91
⑪	22	21	17	21	8	0	9	19	24	21	10	20	192
合計	193	170	187	143	86	0	133	150	170	147	143	156	1,678

#### ③ 大須賀区域

会場 大須賀老人福祉センターで実施

実施日 火曜日～金曜日（各曜日：月4回）

時間 10:00～11:30

利用料 400円

#### 実施日及び登録者数(人)

令和4年3月31日現在

実施場所	実施日	男性登録者	女性登録者	合計
①大須賀老人福祉センター	毎火曜日	0	9	9
②大須賀老人福祉センター	毎水曜日	0	9	9
③大須賀老人福祉センター	毎木曜日	0	9	9
④大須賀老人福祉センター	毎金曜日	0	11	11
合計		0	38	38

#### 4箇所の月別利用者数(人)

8月20日から10月8日まで新型コロナウイルス拡大予防の為活動休止

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①	32	22	29	25	21	0	15	22	22	22	32	36	278
②	31	26	34	30	15	0	22	19	28	26	20	19	270
③	39	31	28	32	17	0	23	27	31	29	28	27	312
④	43	45	46	38	21	0	23	48	36	33	22	29	384
合計	145	124	137	125	74	0	83	116	117	110	102	111	1,244

### 3 子どもの成長と子育てを支援する事業

#### <1> 子ども支援活動

##### (1) おもちゃ図書館の開館

おもちゃ図書館は、障がいのある子もない子も共に、様々なおもちゃで楽しく遊ぶことを通し、心豊かに育ちあう場、また親同士の交流や子育て相談の場として開催した。

※コロナの感染予防の為、人数制限し開催(10組)。たけのこ教室・在宅訪問・居宅介護訪問を利用している親子のみに紹介。開催時間も午前、午後に分けて開催。

開館日 毎月第3日曜日 10:00~12:00 13:00~15:00(コロナで9月、2月は中止)

開催場所 総合福祉センター1階 旧かざぐるま

利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大人利用者	8	9	12	7	10		13	9	9	7		8	92
子ども利用者	10	14	16	9	9		16	10	13	9		9	115
ボランティア数	8	6	5	9	3		6	6	3	3		6	55
合 計	26	29	33	25	22		35	25	25	19		23	262
おもちゃ貸出数	5	10	11	8	7		9	10	6	8		8	82

##### (2) おやこたけのこ教室の実施

市の健康医療課で行っている療育教室の運営し発達に不安を抱いている保護者に関わり方のアドバイス等をおこなった。

開催日 月曜日・水曜日 (年46回計画)

開催場所 掛川児童交流館・はるかぜ

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	2	4	4	3			5	6	5	4	1	3	37
利用者数	26	64	75	57			103	116	103	84	15	52	695

(コロナの為、46回中9回中止)

#### <2> 子育て支援活動

##### (1) 放課後児童健全育成事業(学童保育所)の実施(受託)

就労などの事情により、昼間保護者が家庭にいない児童に対して、放課後等に保育を行い、児童の健全育成及び保護者の就労と子育ての両立支援を図った。

[保育所数] 12箇所

- ①中央小 ②中央小分室 ③西山口小 ④西山口小分室 ⑤第二小
- ⑥第二小つくし会場 ⑦大坂小 ⑧大坂小分室 ⑨千浜小 ⑩土方
- ⑪佐東小 ⑫大渕小

[対象児童] 1年生~3年生

[開設期間] 月曜日~土曜日 (土曜、祝日は希望者のみ) 12:30~18:30

長期休暇中、土曜、祝日 7:30~18:30

## ①月別延べ利用者数（人）

学校名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	3月末登録数
中央小	1025	808	1077	960	699	804	917	895	846	732	685	801	10249	51
中央小分室	829	681	882	773	538	610	655	636	653	524	452	545	7778	40
西山口小	811	706	890	776	564	635	650	717	682	574	461	532	7998	34
西山口小分室	622	567	632	531	334	415	422	427	397	363	316	381	5407	23
第二小	517	415	539	498	331	466	500	467	440	366	303	375	5217	26
つくし	744	572	708	607	447	506	553	553	536	454	393	509	6582	35
大坂小	439	446	573	486	325	333	426	421	395	511	433	390	5178	19
大坂小分室	299	257	328	262	157	159	266	235	221	0	0	0	2184	11
土方小	571	499	667	566	385	460	507	473	425	349	353	377	5632	25
千浜小	352	271	370	307	256	310	360	341	306	270	263	296	3702	18
佐東小	250	234	305	228	181	234	247	248	216	153	178	209	2683	15
大渕小	107	117	129	113	124	55	85	83	62	33	2	16	926	2
中央小土曜	17	22	21	24	16	21	21	18	17	15	11	11	214	8
土方小土曜	15	16	15	15	6	4	13	10	9	10	10	9	132	5
土方小祝日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4
合計	6600	5611	7136	6146	4363	5012	5622	5524	5205	4354	3860	4451	63884	316

## ②施設整備の実施

- 利用児童が増加することに伴い安全性を考慮し、施設整備を実施した  
西山口小学童保育所

ユニットハウス設置、ロッカーの移動、設置、玩具倉庫の設置

中央中小学童保育所

ロッカーの移動設置、スペース確保のための玄関工事

## ③地域移管についての会議

- 大渕小学童保育所の大渕地区まちづくり協議会への移管についての会議に出席をした。

### （2）放課後等デイサービス事業2箇所(はるかぜ・みなみかぜ)

心身に障がいを持つ児童が、可能な限りその地域で生活が継続できるように、利用児の成長につながる心豊かな放課後及び長期休暇活動を支援するとともに、保護者及び家族の養育負担を軽減することを目的として実施した。

[対象児童] 袋井特別支援学校、掛川特別支援学校及び御前崎分校

小中学校特別支援学級の児童生徒、掛川市内受給決定を受けた児童生徒

[開設時間] 月曜～金曜 はるかぜ (下校時～17：30)

### みなみかぜ（下校時～17：30）

長期休暇 9：00～17：00（半日 9：00～12：00 13：00～17：00）

平成 13 年 6 月、職員住宅の空き家を改修して開設した学童保育所「かざぐるま」は、平成 20 年 10 月 1 日総合福祉センター開館に伴い、本館に併設され、新しい環境でスタートした。また「みなみかぜ」は平成 17 年 10 月に大東保健センターの 1 階に開設され、安定した運営が行われた。平成 23 年 4 月から、障害者自立支援法下の児童デイサービスの実施主体として事業を実施し、翌平成 24 年 4 月から児童福祉法下の放課後等デイサービスへと移行した。

また、平成 27 年希望の丘に「はるかぜ」を立ち上げ、平成 28 年度には 3 事業所の体制変更をした。更に安定した運営をするため令和 2 年度をもってかざぐるまを閉所した。

#### 「はるかぜ」

- ・希望の丘運営委員会…新型コロナウイルス感染症予防の為中止
- ・希望の丘防災に関する打合せ 年 3 回開催
- ・希望の丘防災訓練
- ・スタッフ会議…毎月一回実施
- ・避難訓練…毎月一回実施（地震・火災・不審者・通報訓練）

#### 「みなみかぜ」

- ・スタッフ会議…毎月一回実施
- ・避難訓練…毎月一回実施（地震・火災・不審者・津波）

#### 「2 事業所合同」

- ・掛川社協放課後等デイサービス保護者向け説明会は新型コロナウイルス感染症予防の為、紙面で個別説明
- ・法令順守 新型コロナウイルス感染症予防の為、各事業所にて開催
- ・ふれあい広場 新型コロナウイルス感染症予防の為中止
- ・クリスマス会 新型コロナウイルス感染症予防の為、各事業所で縮小して開催

#### 利用状況「はるかぜ」（平成 27 年 4 月 1 日開設） 登録者数 54 人（定員 20 人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日	21	18	20	20	19	20	21	20	20	19	18	22	238
利用者数	345	305	352	363	321	361	391	395	381	302	368	406	4290

昨年比 1298 人増

#### 利用状況「みなみかぜ」（平成 17 年 10 月 3 日開設） 登録者数 16 人（※定員 10 人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日	21	18	22	20	19	20	21	20	20	19	18	22	240
利用者数	174	159	187	184	174	161	174	156	152	125	143	173	1962

昨年比 251 人減

- ・東遠地域自立支援協議会放課後等デイサービス連絡会（コロナ感染予防の為、1 回のみ）

#### （3）児童発達相談員派遣事業の実施（受託）

心身の発達の遅れが認められる児童の家庭につき、児童発達相談員を派遣し、当該児童に対する発達促進指導、心身の発達に関して必要な情報の提供並びに当該児童の心身の発達に関する相談及び助言をした。

### 活動状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	3	5	5	7	6	8	9	12	14	15	14	14	112
訪問回数	9	10	15	21	16	26	22	25	32	30	26	30	262

・乳幼児処遇検討会 1回/年（コロナ感染予防の為、1回のみ）

・子育て支援センター会議 1回/年参加

### （4）養育支援訪問事業

健康医療課より訪問委託された家庭に1件につき10回まで訪問し、子育て相談にのり、育児力の向上と育児ストレスの軽減をする。

訪問回数 97回 利用登録件数 13件

### （5）子育て相談

健康医療課の依頼を受け子育て相談日に参加する。または電話相談にて隨時受付。

相談件数 28件

### （6）子育てサロン・サークルの活動支援

子育てサロン、サークルの活動状況把握に努め、活動支援を行った。

コロナ禍の為、活動を自粛するサロン・サークルもあり、活動内容については電話による相談対応、また希望するサロン・サークルへの訪問対応をした。

子育てサロン、サークルへの訪問の際は子育て支援関連資料の配布をし、情報提供するとともに、サロン・サークル活動の実態把握をし、コロナ禍での活動の工夫や対策また要望を聞く機会とした。

#### 子育てサロン・サークル訪問（子育てサロン7か所・子育てサークル8か所）

訪問日	子育てサロン	開催場所
6/9	親子ふれあいの部屋（原谷）	原谷地域生涯学習センター
6/10	なかよしキッズ	原田ふくし館
6/11	子育て広場「ぶらんこ」	西郷みらい館
6/15	親子ふれあいの部屋（和田岡）	和田岡地区福祉会館
6/24	うさぎ	中央小地域生涯学習センター
6/24	すくすく広場	南郷地域生涯学習センター
7/16	のびのび広場	西南郷地域生涯学習センター

訪問日	子育てサークル	開催場所
5/19	いちごサークル	城北ふれあいセンター
6/17	こぶたのしっぽ	倉真地域生涯学習センター
6/24	子育て広場「じゃがいも」	西山口地域生涯学習センター
7/8	ちゅーりっぷ	日坂地域生涯学習センター
7/12	くれよん	上内田地域生涯学習センター
7/14	子育てサークル「ひよこ」	曾我学童保育所
7/16	のびのび広場	西南郷地域生涯学習センター
7/21	みんなであそぼう会	東山口地域生涯学習センター

### （7）子育てサロン・サークル実践者の情報交換会

情報交流会は計画したが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止とした。

子育て活動支援のアンケート調査を行い、コロナ禍での開催状況の確認と運営や活動においての困りごと・利用者からの相談内容等の活動状況の把握をした。

### 第3 市民参加のまちづくり

#### 1 市民を育てるボランティア活動推進事業

##### <1> ボランティアの開拓・養成

###### (1) ボランティア養成講座の実施

ボランティア活動のきっかけづくりとして、講座を開催した。

日 時 令和4年3月19日(土)13:30~16:30

会 場 総合福祉センターあいりーな 2階：教養会議室 1階：作業室

講座名「まちなかアイサポートボランティア講座」

講 師 ホワイト☆ステッキ 代表 田口 武司 氏

掛川市視覚障害者協会 会長

(兼) ホワイト☆ステッキ 副代表 伊奈 保美氏

ホワイト☆ステッキ 会員 前嶋 知代 氏

ホワイト☆ステッキ 会員 鈴木 一徳 氏

ホワイト☆ステッキ 事務局 棚葉 好美 氏

内 容 (1)講話

①視覚障がいについて

②視覚障がい者と街中の様子～点字ブロックについて～

③視覚障がい者に関わる福祉の仕事～同行援護と外出支援～

④視覚障がい者の日常生活～ICTの活用～

(2)体験

①アイマスクとヘルパーの体験

②同行援護の体験

参加者 受講者9人、講師5人、同行援護1人、見学者1人、職員3人 計19人

###### (2) 青年ボランティアの育成

大学生のボランティアに関する相談を受け付け、青年学級、ボランティア団体、福祉施設でのボランティアにつなげた。

##### <2> ボランティア活動支援

###### (1) ボランティアセンターの運営

ボランティア情報を提供し、実践の支援、調整を行うため、ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアセンターの運営を行った。

###### (2) ボランティアセンター運営会議の設置

ボランティアセンター運営会議は設置できなかった。

###### (3) ボランティア連絡協議会への支援(事務局)

本部役員会 4回 (4/23、7/30、11/24、2/4)

支部役員会 掛川支部：0回 大東支部：0回 大須賀支部：1回

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、支部役員会は一部中止した。

・事業報告

月日	曜日	本部・ 支部	内 容	会 場・行 先	参加 者数
5/28	金	本部	総会	総合福祉センター	11人

- ・ボランティア活動費助成 3団体に助成

(災害 VC 掛川・自然に親しむ会・掛川運転ボランティアの会)

※新型コロナウイルスの影響によりボラ連事業の活動は中止となり、広報誌「ボラレンニュース」は発行しなかった。

### <3> 多様な担い手との連携

#### (1) 市民交流センター・活動団体との連携

市の協働推進課、市民交流センターとボランティアセンターが連携を図ることで市民への情報提供の枠が広がるなど様々な効果が期待されるが、具体的に連携について協議できなかった。

#### (2) NPO団体等との連携

福祉ボランティア以外のさまざまな活動を展開するNPO団体や市民活動との連携を図った。

- ・社協登録 (NPO) 4団体 「ジョイントサークルかたくり」「風の家」「掛川国際交流センター」「掛川シニア交流研究会」

#### (3) 企業の社会貢献啓発・支援事業

企業における社会貢献活動のきっかけづくりとして、企業と連携し実施した。

- ① 株式会社三善による「寄付付き商品販売キャンペーン」
- ② ダイハツ健康安全運転講座

日 時 令和3年 11月 25日 (木) 9:30~11:30

会 場 三井コミュニティ防災センター

参加者 37人

内 容 理学療法士による健康安全運転講座、JAF講座

## 2 地域を育てる地域活動支援事業

### <1> 地区福祉協議会のネットワーク強化

#### (1) 掛川市地区福祉協議会連絡会の運営支援 (事務局)

- ① 地区福祉協議会連絡会役員会の実施(2回)

・会場：掛川市総合福祉センター本館 2階教養会議室

・日時及び内容

##### 第1回目

日 時 令和3年 4月 12日 (月) 9:30~10:30

参加者 地区福祉協議会連絡会正副会長及び社協担当者 8人

内 容 正副会長選出・承認、新任役員研修会・合同会議・年間スケジュールについて

## 第2回目

日 時 令和3年5月12日(水)新型コロナウイルス感染拡大の為、中止。

## 第3回目

日 時 令和3年8月5日(木)13:20~14:00

参加者 地区福祉協議会連絡会正副会長及び社協担当者 10人

内 容 エリア別代表者・企画委員長連絡会報告・先進地視察研修・市民地域福祉セミナー・エリア別小地域福祉ネットワーク研修会・地域ボランティア養成講座について

### ② 地区福祉協議会連絡会代表者会の実施

地域福祉推進組織相互の情報交換や課題対応の検討を行い、地域活動の活性化や市社協活動への反映を図る場として開催する予定だったが、コロナウイルス感染防止のため、各エリアでの開催とした。

### ③ 地区福祉協議会連絡会代表者・企画委員長合同会議の実施(各エリア3回)

地域福祉推進組織相互の情報交換や課題対応の検討を行い、地域活動の活性化や市社協活動への反映を図る場としてエリア別に開催した。

#### 【東部エリア】

ア 日 時 令和3年5月19日(水)13:30~14:30

会 場 シルバー人材センター作業室

参加者 20人

内 容 地区福祉協議会連絡会からの報告事項  
地域福祉関連事業スケジュールについて  
第四次地域福祉計画地域福祉活動計画について  
地域福祉推進の重点目標について  
提出書類・確認書類について

イ 日 時 令和3年8月17日(火)13:30~15:30

会 場 東部ふくしあ2階研修室

参加者 16人

内 容 地域福祉推進状況の確認と課題について  
第四次地域福祉計画・地域の推進状況について  
東部エリア小地域福祉ネットワーク研修会について

ウ 日 時 令和4年3月蔓延防止等重点措置適用の為中止。書類配布。

#### 【中部エリア】

ア 日 時 令和3年5月19日(水)13:30~14:30

会 場 教養会議室

参加者 20人

内 容 地区福祉協議会連絡会からの報告事項  
地域福祉関連事業スケジュールについて  
第四次地域福祉計画地域福祉活動計画について  
地域福祉推進の重点目標について  
提出書類・確認書類について

イ　日　時　令和2年8月20日(金)緊急事態宣言発令の為中止。書類配布。

ウ　日　時　令和4年3月11日(金)13:30～15:00  
会　場　中部ふくしあ　会議室  
参加者　11人  
内　容　第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画に係るアンケート調査御礼  
令和3年度実績報告書・令和4年度実施計画書について  
ふれあいサロン・小地域福祉ネットワーク活動調査について  
各地区の地域福祉推進体制と次年度活動について  
令和4年度地区福祉協議会連絡会役員選出について

#### 【西部エリア】

ア　日　時　令和3年5月21日(金)9:30～10:30  
会　場　西部ふくしあ　会議室  
参加者　14人  
内　容　地区福祉協議会連絡会役員会からの報告事項  
地域福祉関連事業スケジュールについて  
第四次地域福祉計画地域福祉活動計画について  
地域福祉推進事業の重点目標について  
提出書類・確認書類について

イ　日　時　令和3年8月26日(木)緊急事態宣言発令の為中止。書類配布。

ウ　日　時　令和4年3月蔓延防止等重点措置適用の為中止。書類配布。

#### 【大東エリア】

ア　日　時　令和3年5月19日(水)13:30～14:15  
会　場　大東市民交流センター　会議室  
参加者　17人  
内　容　地区福祉協議会連絡会からの報告事項  
地域福祉関連事業スケジュールについて  
第四次地域福祉計画地域福祉活動計画について  
地域福祉推進の重点目標について  
提出書類・確認書類について

イ　日　時　令和3年8月25日(水)緊急事態宣言発令の為中止。書類配布。

ウ　日　時　令和4年3月23日(水)19:00～20:30  
会　場　大東市民交流センター　会議室  
参加者　18人  
内　容　地区福祉協議会からの報告・連絡事項、エリア代表選出

#### 【大須賀エリア】

ア　日　時　令和3年5月19日(水)13:30～15:00  
会　場　大須賀市民交流センター　会議室  
参加者　8人

内 容 地区福祉協議会連絡会からの報告事項  
地域福祉関連事業スケジュールについて  
第四次地域福祉計画地域福祉活動計画について  
地域福祉推進の重点目標について  
提出書類・確認書類について

イ 日 時 令和 3 年 8 月 22 日（日） 緊急事態宣言発令の為中止。書類配布。

ウ 日 時 令和 4 年 3 月 22 日（火）13:30～15:00  
会 場 大須賀市民交流センター ミーティングルーム  
参加者 8 人  
内 容 令和 3 年度実績報告書・令和 4 年度実施計画書について  
ふれあいサロン・小地域福祉ネットワーク活動調査について  
令和 4 年度地区福祉協議会連絡会役員選出について

## <2> 地区福祉協議会活動の充実

### （1） 地区福祉協議会活動支援

「掛川市の地域福祉組織化の方針」に基づき、平成 30 年度までに地区福祉協議会等が市内 35 地区で設置（原則、小学校単位としているが、地域の実情にあわせ、取り組みしやすい単位で設置している）し、同組織の基盤強化、活動の充実のための支援をおこなった。

地区名	組 織 名	主 な 活 動 内 容
第一小	第一小地区 福祉協議会	総会、企画委員会 1 回、独居高齢者昼食宅配（年 8 回）、高齢者サロン（仁藤町、城内、旭ヶ丘…訪問等実施、道神・六軒、旭町…1～2 回は屋外、それ以外は訪問等、神明町 10 回、肴町 19 回、喜町・新町 6 回）子育てサロン（旭ヶ丘かるがも…訪問等）、広報紙桔梗が丘に記事掲載（2 回）
西山口	西山口地区 福祉協議会	総会、M 会（38 回）、高齢者サロン（青葉台 8 回・成瀬中止、子育てサロン（サークルじゃがいも 12 回）、西山口小学校（下校声かけ、図書館協力）子ども福祉委員会、児童支援講座 1 回、のびのび健康講座 3 回、グラウンドゴルフ大会、まちづくり協議会広報誌ひとがき発行、児童支援講座（3 回）、すこやか子ども園、東中・西山口小花壇協力
東山口	東山口地区 福祉協議会	高齢者サロン（さかがわ、東部・中部・西部・宮村、）戸別訪問等、塗り絵作成展示、健康体操、子育てサロン（みんなであそぼう会）、見守りネットワーク、図書館の本の貸出、高齢者 1 人世帯へのお弁当・手作り年賀状配付、輪投げ、健康体操
日坂	日坂地区 福祉協議会	総会（書面）企画委員会（4 回）高齢者サロン（元気のつどい、百寿会）、子育てサロン（ちゅーりっぷ）独居高齢者昼食宅配（2 回）、見守りネットワーク、孤立を防ぐ活動、「広報にっさか」で活動紹介、社協だより記事掲載、健康福祉部会（2 回）

東山	東山地区 まちづくり協議会 福祉部	総会（書面）企画会議（4回）、冬の三世代交流（しめ縄づくり、餅つき、サンタプレゼント）
栗本	栗本地区 まちづくり協議会 健康福祉部	企画委員会1回、学習講座2回（見守りネット勉強会・介護保険について）広報誌発行（図書館・学習センター掲示）高齢者サロン（一膳会、そらまめ会）子育てサロン（子育て広場げんきっこ）
葛ヶ丘	葛ヶ丘地区 福祉協議会	高齢者サロン（すみれ会）複合サロン（かつらがおかなかよしサロン→事業休止）子育てサロン（どようひろば）認知症を防ぐための講座、見守りネットワーク報告会3回
城北	城北地区 まちづくり協議会 健康福祉部会	福祉部会企画委員会12回、見守り推進委員会4回、高齢者サロン（北門12回、城北町7回・弥生町11回・下西郷10回・下西郷西10回）、広報「しろきた」発行（3回）、ふれあいまつり（折り紙、ちぎり絵、小物入れ、コ-スター展示）
倉真	倉真地区 福祉協議会	役員会（2回）、専門部員会12回、高齢者サロン（笑輪会・さくら会）、子育てサロン（こぶたクラブ28回）、ふれあい祭、健康講座、食育指導講習会（6～12月）、収集活動（ペルマーク・古切手・書き損じはがき）、広報くらみ発行（2回）、昼食宅配（1回）、学童保育、パンダひろば（週5回）、福祉バス運行、奉仕活動（地区センター周辺の清掃ボランティア・倉真川の水質検査（4回）
掛川第三	第三地区 福祉協議会	総会（委任状）、理事会・企画会議、子ども会児童から敬老会対象者へ、暑中見舞い・年賀状差し出し、見守りネットワーク、高齢者サロン（小鷹町、十九首3回、西町）、子育てサロン（22回）、複合サロン（十王8回、中央高町3回）※中止（高齢者ふれあいの会、健康体操教室）
城西	城西地区 まちづくり協議会健康福祉教育部城西地区福祉協議会	総会、理事会兼企画委員会（4回）、高齢者サロン（8回）、城西区民福祉研修会、城西だより発行、高齢者見守り活動、クリスマス会（プレゼント配布）、ふれあい年賀状、福祉「城西座」※中止（高齢者ふれあい昼食会、役員研修会）
掛川第五	掛川第五地区 福祉協議会	企画委員会、つくしなかよし広場企画会議、新さくらんば、クリスマス会、子育てサロンにコロナ対策（空気清浄機、消毒液噴霧器）、高齢者サロンレクリエーション用具購入（ボッチャ）、高齢者サロン（二瀬川10回、上屋敷2回、秋葉路11回、橘町12回、長谷3回、鳥居町5回、末広町10回、七日町10回、秋葉通り6回） ※中止（いきいきサロン交流会、高齢者輪投げ大会・高齢者スカットボール大会協賛）
南郷	南郷地区 福祉協議会	総会（書面）、企画委員会（6回）、高齢者サロン（7回）、ミニサロン（1回）、子育てサロン（12回）、声の郵便（4回）、バリアフリー化調査（調査1回、市報告1回）、正月飾り教室※中止（企画委員会研修、フリーマーケット、もちつき大会）

西南郷	西南郷地区 福祉協議会	総会、企画委員会（6回）、役員研修会（福祉の想いココロを育む）、ふれあい事業への参加依頼・PR（高齢者への年賀状作成依頼）、一人暮らし等高齢者支援活動、フェスティバル西南郷・三世代交流会、障がい児（者）交流会、おたより交流会、高齢者サロン（7回）、子育てサロン（10回）、複合サロン（3回） グラウンドゴルフ大会（2回） ※中止（高齢者輪投げ交流会、グラウンドゴルフ大会（年4回開催のうち2回））
上内田	上内田地区 福祉協議会	総会（委任状）、企画委員会（2回） 福祉だより発行（12回）、高齢者サロン（9回）、子育てサロン（7回）、グラウンドゴルフ大会（3回）、見守りネットワーク、地域安全推進活動（昼間・夜間）、学童保育（年間242日）、ひろば事業（年間128日）
曾我	曾我地区 福祉協議会	福祉部企画運営委員会（3回）、古紙回収活動、そが広報誌発行（4回）、高齢者サロン（高御所ひまわり、篠平お茶の実）、子育てサロン（ひよこ14回、こっこ15回）、複合サロン（細沢ピーチク）、助成金非対象サロン（篠平1回）、 ※中止（敬老会）
西郷	西郷地区 福祉協議会	高齢者サロン（小市10回・長間12回・方の橋12回・上五明6回・さわやかサロン西郷11回）、高齢者昼食懇談会（1回）、子育てサロン（11回）、子供対象の作文教室（3回）、キッズ運動教室（10回）、子供対象の工作教室（1回） ※中止 AED研修会、障がい者への対応の勉強会、ふれあいフェスティバル
原泉	原泉地区 福祉協議会	高齢者サロン（桜のサロン24回、いずみ会50回）、一人暮らし高齢者へのお菓子の配布&見守り（2回）、敬老会
原田	原田地区 福祉協議会	高齢者サロン（元気クラブ6回）、子育てサロン（なかよしキッズ7回）、ふれあいお手紙（暑中見舞い・年賀状）、福祉だより（年2回）・ふくし館だより（年4回）の発行、地域住民への福祉情報提供（年2回）、地域住民への活動状況を提供（年4回）、生活支援車運行（週3回）・サロン参加者送迎（年6回） ※中止 視察研修、昼食宅配（1回）
原谷	原谷地区 福祉協議会	高齢者サロン（本郷西12回・本郷南10回）、子育てサロン（29回）、高齢者昼食宅配サービス（3回）、学童保育運営、 ※中止 認知症研修会
桜木	桜木地区 福祉協議会	子育てサロン（11回）、ふくしの郷さくらぎ（3回）、さわやか健康教室（1回）、子育て支援部クリスマス会 ※中止 茶話会、さわやか健康教室（11回）、敬老会協力、さわやかサロン（5会場各1回）、健康サロン、うたごえサロン、チャリティーバザー、障がい者児童との茶話会、防災訓練、クリスマス会（プレゼントは配布）、見守りネットワーク研修（下垂木3区）
和田岡	和田岡地区 福祉協議会	子育てサロン（親子ふれあいの部屋6回）、福祉協だより（1回） ※中止 高齢者サロン（和会、ねんりんクラブ）、出前講座、敬老会、クリスマス会

千浜東	千浜東区 福祉委員会	福祉委員会、あじさいサロン（高齢者サロン）、サロン歩みの会（高齢者サロン、冊子配布）、小地域福祉ネットワーク活動、千浜東区西区合同敬老会（記念品配布）、千浜東区コロナ感染防止対策検討会参加（2回）
千浜西	千浜西区 福祉委員会	福祉委員会（3回）、役員会、認知症勉強会、千浜東区西区合同敬老会（配布協力）
国浜	国浜区 福祉委員会	企画委員会（6回）、福祉委員会（1回）、見守り活動、国浜サロンふらっと（3回）、千浜小学校あいさつ運動（2回）
三浜	三浜区 福祉委員会	福祉委員会（6回）、見守り活動、三浜ふれあいサロン（高齢者サロン3回）
浜野	浜野区 福祉委員会	福祉委員会（3回）、福祉懇談会、敬老会協力、体験農園協力、浜野ふれあいサロン（高齢者サロン4回）、見守りネットワーク、初日の遙拝、古切手収集
大坂	大坂地区 まちづくり協議会 健康福祉部	健康福祉部会ワークショップ6回、生活支援車両運行検討会（ワークショップ5回、勉強会2回、対策会議1回）広報おおさかに記事掲載、ふれあい交流会（中止）・高齢者サロン（東大坂10回・三井6回開催その他訪問活動など）・複合サロン（大坂5回・三井8回、訪問4回）健康体操（9回）、見守りネットワーク活動、敬老会（記念品配布）
土方	土方地区 まちづくり協議会 健康福祉部	福祉部会5回・支部福祉委員会（上土方2回・下土方1回）・井戸端サロン（複合サロン）電話で安否確認・菜の花サロン（複合サロン）3回・ゆったり笑話会サロン（複合サロン）中止・白寿会中止・ラジオ体操（下中・畑ヶ谷は前半実施、）見守りネットワーク活動、土方地区敬老会（記念品配布）
佐束	佐束地区 まちづくり協議会 福祉部	健康福祉部会4回・総会1回・専門部特別部会1回・福祉委員会（各区2~5回）ふれあい交流会（高瀬2回・小貫1回、中方2回訪問）・高瀬交遊クラブ（複合サロン）6回・小貫ふれあいサロン（複合サロン）1回・岩滑いきいき広場（高齢者）3回・見守り支援活動（高瀬・小貫・中方・岩滑）・防災訓練（各地域）
中	中地区 まちづくり協議会 福祉部	福祉部会2回、福祉懇談会、ふれあい交流会（陸三1回）、中地区安心安全見守りネット、中地区敬老会（記念品配布）
大須賀 第一	大須賀第一地区 福祉協議会	役員会1回、企画推進委員会6回、事務局会議3回、サロン責任者会議2回、研修委員会4回、先進地視察研修（上内田）、講座委員会5回、まち協祭協力（口コモ予防、休憩コーナー）、公共交通委員会3回、古切手適時回収、高齢者サロン：汐見ヶ丘4回、川原町1回、西大谷3回、柏平区3回、柏平いきいきウォーキング12回、区長会にて見守りネット体制説明

大須賀 第二	大須賀第二地区 福祉協議会	【全体】総会、・全体会議 2 回 【第 1 支部】役員会 1 回、軍全町サロン 1 回、気楽に寄つてサロン 10 回（自宅訪問） 【第 2 支部】定例会 1 回、通学児童声かけ運動 9 回、独居高齢者宅訪問 12 回 【第 3 支部】敬老会の協力（石津・清ヶ谷・本谷） 【第 4 支部】通学児童への声掛け 9 回、福祉講座 2 回、通学児童声掛け高齢独居世帯見守り 6 回
大須賀 第三	大須賀第三地区 まちづくり協議会 福祉委員会	定例会 6 回、高齢者サロン：沖之須わかばの会 4 回（自宅訪問）・西大渕わかばの会 3 回（自宅訪問）・今沢お弁天様サロン 2 回（自宅訪問）、三世代交流会：今沢区 1 回、敬老会協力：脳トレチラシ配布
大渕	大渕地区 福祉委員会	定例会 10 回、川西サロン 2 回（自宅訪問）・川東サロン 2 回（自宅訪問）、小地域サロン：藤塚 12 回（自宅訪問）・雨垂 12 回（自宅訪問）・野中 12 回（自宅訪問）・浜 12 回（内 8 回は自宅訪問）、見守りネットワーク（9 区）、大須賀苑奉仕作業・敬老会協力・写真集回覧

※サロン実績で会場数があるものは小地域開催型、会場数の無いものは全域対象型

## （2） 地区福祉協議会新任役員研修会

地区福祉協議会の新任役員を対象に地域福祉活動に必要な研修を、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各エリア別で開催した地区福祉協議会連絡会代表者会終了後に各エリアで開催した。

### 【東部・中部エリア】

ア 日 時 令和 3 年 5 月 19 日 (水) 14:30～14:50  
会 場 教養会議室  
参 加 者 23 人（東部 8 人・中部 8 人）、社協 7 人  
内 容 「地域福祉の必要性について」

### 【西部エリア】

ア 日 時 令和 3 年 5 月 21 日 (金) 10:35～11:10  
会 場 西部ふくしあ 会議室  
参 加 者 23 人  
内 容 「地域福祉の必要性について」

### 【大東エリア】

ア 日 時 令和 3 年 5 月 19 日 (水) 14:15～14:45  
会 場 大東市民交流センター 会議室  
参 加 者 17 人  
内 容 「地域福祉の必要性について」

### 【大須賀エリア】

ア 日 時 令和 3 年 5 月 19 日 (水) 15:00～15:30  
会 場 大須賀市民交流センター 会議室  
参 加 者 4 人  
内 容 「地域福祉の必要性について」

(3) 地域ボランティア養成講座

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

(4) 地区福祉協議会助成事業の実施

身近な地域におけるきめ細かな福祉活動を実践するために、地域単位に活動拠点を設置し、地域の特性を生かした住民主体の地域福祉実践活動を行っている地区福祉協議会等へ活動費助成を行った。

実施地区 35 地区 助成総額 8,471,400 円

(5) 地域福祉特別活動助成事業の実施

地域で行う高齢者や子育てサロンなど、一定の事業を実施する地域に対して助成し、地域の主体的な活動の育成・支援を実施した。

助成事業 30 地区・88 事業

助成総額 2,247,000 円

内 容 高齢者サロン： 62 事業

子育てサロン： 17 事業

複合サロン： 9 事業

(6) 見守り・サロン（居場所）・家事支援活動の立ち上げ、活動支援、研修会の実施

※先進地視察研修、エリア別小地域福祉ネットワーク活動研修会で実施した。

(7) 小地域福祉ネットワーク活動の立ち上げ、活動支援

小地域福祉ネットワークを重点事業として各地域の立ち上げ、活動支援を行い、普及推進に努めた。

認知症の人の見守り・支え合いについても、小地域福祉ネットワーク活動の一環として取り組んだ。

① 小地域福祉ネットワーク活動取り組み状況調査の実施（4月）

支援員型実施	準備中	検討中	地縁型実施	検討無	合計
90 区	14 区	28 区	35 区	35 区	202 区

② 小地域福祉ネットワーク活動研修会

市内ふくしあ圏域で「小地域福祉ネットワーク活動」の実践事例を通して、市内地区福祉協議会への普及を図ることを目的として研修会を開催した。

【東部エリア】

日 時 令和3年11月16日（火）13:30～14:30

会 場 東部ふくしあ 2階研修室

参加者 16人

内 容 テーマ 「誰でも楽しめる簡単レクリエーション」

講師 東部生きがいデイサービスセンター

松浦 万里子 氏

### 【中部エリア】

日 時 令和 3 年 11 月 18 日 (木) 13:30~15:00

会 場 上内田地域生涯学習センター 会議室

参加者 16 人

内 容 テーマ 「地区の困りごと解決事例の紹介

上内田小学童保育所通学路の安全化活動」

講師 上内田地区福祉協議会

企画委員長 八木 昌子 氏

### 【西部エリア】

日 時 令和 4 年 2 月 24 日 (木) 蔓延防止等重点措置適用の為中止。

### 【大東エリア】

日 時 令和 3 年 12 月 15 日 (水) 19:00~20:30

会 場 大東市民交流センター 会議室

参加者 大東エリア地区福祉役員 11 人

内 容 テーマ 「どうイメージする？地域の福祉活動」

実践紹介「大東地区福祉活動の紹介」

グループワーク「SDGS ロードマップ作り体験」

### 【大須賀エリア】

日 時 令和 4 年 1 月 28 日 (金) 蔓延防止等重点措置適用の為中止。

### ③ 先進地視察研修

小地域福祉ネットワーク活動の普及推進を目的として、市内外の先駆的活動者より実践報告をいただき、地区福祉協議会役員が参加した。また新型コロナ感染防止のため Zoom を利用し、市内 3 会場と自宅視聴により参加者を分散して開催した。

日 時 令和 4 年 1 月 31 日 (月) 13:30~15:15

会 場 総合福祉センター（配信元）

大東市民交流センター、西部ふくしあ

参加者 43 人（市内地区福祉協議会役員・社協職員）

内容・報告者 事例発表①

葛ヶ丘地区まちづくり協議会 お助け隊について

事例提供者 葛ヶ丘地区まちづくり協議会健康福祉部

部長 大野 千比路 氏

事例発表②

浅羽・笠原地区まちづくり協議会 生活支援ネットワークについて

事例提供者 浅羽・笠原地区まちづくり協議会 健康福祉部

運営委員長 廣岡 英一 氏

事務局 東原 俊廣 氏

### (8) 地域における家事支援の体制づくり

各ふくしあ CSW のうち 1 名が生活支援体制整備事業における第 2 層生活支援コーディネーターを兼務し、居場所活動・見守り活動・家事支援活動・移送支援活動等の

支えあい活動の普及および推進の支援活動を行った。

① 生活支援コーディネーター打ち合わせ会の実施

掛川市長寿推進課に配置された第1層生活支援コーディネーターと連携し、市内の支えあい活動推進について検討するため、定期的に打ち合わせ会を実施した。（全6回）

日時：

令和3年	6月	9日	(水)	9:00～	教養会議室
令和3年	8月	27日	(金)	9:00～	教養会議室
令和3年	9月	15日	(水)	16:10～	Zoom
令和3年	10月	5日	(火)	13:30～	教養会議室
令和3年	11月	15日	(月)	10:00～	Zoom
令和4年	3月	17日	(木)	15:00～	教養会議室

② 地域支えあい推進協議会への参画

掛川市全体の地域課題を把握し、支えあい体制づくりを推進するための第1層協議会としての「地域支えあい推進協議会」に参画し、第2層単位の状況を報告し地域課題について検討した。（全1回）

(9) ふだんのくらしのしあわせ展の実施

市内35地区福祉協議会の活動を模造紙にまとめていただき、展示会を実施した。  
大須賀図書館12/2～12/9・大東図書館1/8～1/20・中央図書館1/26～1/30

(10) 認知症の人の見守り・支え合いネットワークの推進

P46 (1) 小地域福祉ネットワーク活動の立ち上げ、活動支援に含め実施した。

<3> 地域福祉活動支援の充実

(1) 福祉お助け用品貸し出しの実地

サロン活動等の地域活動を支援するためにレクリエーション等の用品貸し出しを実施した。各ふくしあでの貸出も実施している。

貸し出し利用件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本 所	17	50	38	52	38	7	46	74	62	49	10	30	473
中 部	1	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	5
西 部	0	1	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	5
大 東	2	5	9	5	3	0	4	13	11	7	2	2	63
大 須 賀	5	2	1	10	1	0	10	13	3	7	4	2	58
合 計	25	59	50	67	42	7	60	100	80	64	16	34	604

3 福祉を伝える啓発・情報提供活動

<1> ふれあい交流活動

(1) 第17回掛川市ふれあい広場

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度は開催を見送り代替事業として下記事業を行った。

- (2) かけがわハピネスフォトコンテストの開催  
 写真を通じて、人と人、人と社会が自然と支え合う地域社会を形成していくきっかけとなることを目的として開催。  
 応募期間 令和3年8月16日（月）から令和3年9月15日（水）  
 応募資格 掛川市在住・在勤・在学  
 テーマ しあわせ（日常にある幸せ、奇跡的な一枚、見る人の心が温まるような写真など）  
 応募数 30点
- (3) かけがわハピネスフォトコンテスト写真展の開催  
 展示場所 掛川市立図書館3館（大須賀、大東、中央）  
 揭示点数 21点（最優秀賞1点、会長賞1点、副会長賞4点、優秀賞15点）  
 展示期間 大須賀図書館 12月11日（土）から12月21日（火）  
                   大東図書館 1月8日（土）から1月20日（木）  
                   中央図書館 2月17日（木）から2月23日（水）

## <2> 市民啓発活動

- (1) 第17回掛川市社会福祉大会の開催  
 「誰もがすこやかに、安心で幸せな暮らしをともにつくるまち」の実現に向け、人と人の絆や助け合いの大切さを確認するとともに、多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった人々に対し、心から感謝の意を表するために開催を予定していたが、蔓延防止等重点措置期間中の為中止した。

被表彰者

区分	団体	個人	合計
社協会長表彰	4団体（社）	47人	51
社協会長感謝状	8団体（社・校）	0人	8
厚生労働大臣表彰伝達	1団体	0人	1
静岡県共同募金会感謝状伝達	8団体（社）	0人	8
かけがわハピネスフォトコンテスト		1人	1

## <3> 情報提供活動

- (1) 社協だよりの発行(毎月)  
 社協の機関誌として「社協だより」を発行し福祉情報を提供した。また、編集委員会を開催し、紙面の充実を図った。  
 発行回数 12回（毎月1日発行） 総発行数 488,370部 全戸配布
- (2) ボランティア情報の提供  
 毎月発行の社協だよりの中で講座・イベントの案内や、ボランティア募集等の情報提供を行った。またホームページを活用し、情報発信を行った。
- (3) 介護者だよりの発行(年4回)  
 在宅介護者、福祉施設等に配布し、介護に関する情報の提供を行った。

発行回数 年2回（7月、12月） 発行部数 150部

(4) 社協ホームページによる情報発信

各種事業・サービスの紹介や福祉情報を発信した。

(5) インターネット活用による地区福祉協議会活動の情報提供

社協ホームページから各地域の福祉活動情報を発信した。また、地域助成や特別助成の申請書類をダウンロードできるようにした。

(6) 特技ボランティアリストの改定

福祉施設や地域のサロンなどで、自分の特技を活かして活動する特技ボランティアに関する最新の情報を提供するため、令和3年度版の作成を行った。また、新たな人材発掘のために地域へ呼びかけを行った。

令和3年度登録者数 43人

## 4 福祉の心を育てる福祉教育活動

### <1> 学校発の福祉教育の充実

(1) 福祉教育実践校事業の推進・活動支援(小・中・高 35校)

平成17年度創設した「掛川市福祉教育実践校事業運営要綱」に基づき、小学校22校、中学校9校、高等学校4校 計35校（全校指定）を実践校として、学校の教育目標に沿った福祉教育活動を実践し、社協はその支援を行った。

#### ◎各学校での活動状況

No.	区分	活動報告
1	城北 小学校	ベルマーク・古切手収集・アルミ缶・赤い羽根共同募金、挨拶運動、ペア活動、福祉について調べ学習、ゲストを迎えての体験学習（肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい）
2	第二 小学校	収集活動（アルミ缶）、福祉ポスター掲示、福祉についての調べ学習、身体に障がいをもつ方とのふれあい、視覚に障がいをもつ方とのふれあい、聴覚に障がいをもつ方とのふれあい、お仕事発見セミナー（介護士）、認知症サポーター養成講座、自己テーマについてのまとめと提案発表、低学年との交流、赤い羽根共同募金（学校、職域）、福祉教育実践校連絡会、広報活動（学校だより、HP）
3	東山口 小学校	古紙のリサイクル活動、あいさつ運動、地域の方との交流、特別支援学級啓発授業、調べ学習（ユニバーサルデザイン、点字、手話、車いす）、福祉に関する調べ学習、赤い羽根共同募金
4	桜木 小学校	福祉クイズラリー、赤い羽根共同募金への参加、ゴミ袋に収集者の方へのメッセージ
5	原田 小学校	書き損じハガキ収集、挨拶運動、視覚障がい者について調べ学習、地域の方、特産品の栽培者の方との交流、こども園との交流、地区のお年寄りへの年賀状、ボッチャ体験、災害義援金協力
6	倉真 小学校	赤い羽根共同募金、総合学習（冀北発表会）、金次郎ボランティア（校内奉仕、地区奉仕）、パラリンピック競技体験
7	日坂 小学校	あいさつ運動、調べ学習、学習発表会、ゲストを招いて体験授業、異学年との交流、赤い羽根共同募金への協力

8	西山口 小学校	人権ポスターへの参加、総合学習（調べ学習、街中調べ、車椅子体験）、特別支援学校へ通うお子さんとの交流、赤い羽根共同募金、書き損じはがき収集活動
9	中央 小学校	シトラスリボンの啓発活動、高齢者についての講座（ふくしあ）、ユニセフ募金、エコキャップ回収活動
10	曾我 小学校	赤い羽根共同募金活動、収集活動（アルミ缶）、目の不自由な方との交流、体が不自由な方との交流
11	上内田 小学校	収集活動（アルミ缶、書き損じはがき）、赤い羽根共同募金活動、校内清掃活動、花壇への水かけ、「地域の福祉」についてのお話
12	西郷 小学校	募金活動、障がい者（視覚・肢体）との交流、校内のUD探し、租税教室
13	原谷 小学校	あいさつ運動、赤い羽根共同募金、異学年との交流活動、視覚障がい者との交流、ボッチャ体験、地域の農家の方との交流、福祉の仕事学習、こども園との交流、草取りボランティア、書き損じはがき収集、中学生からの防災伝達講習会、
14	和田岡 小学校	ボッチャ体験、福祉教育に関する書籍の購入、障がい者（視覚・肢体）との交流（Zoom）、赤い羽根共同募金
15	第一 小学校	福祉総合学習（点字ブロック・音声信号機・福祉調べ学習・幼保育児と交流、SDGsに関する調べ学習）、赤い羽根共同募金、ポスターの掲示・活動報告、収集活動（アルミ缶、ペットボトルキャップ）、道徳授業
16	佐東 小学校	あいさつ運動、アルミ缶回収、福祉集会（視覚障がい者）赤い羽根共同募金、PTA連絡協議会「書き損じはがき集め」協力、行事案内を地域回覧、退職教員による個別指導
17	中 小学校	収集活動（エコキャップ、書き損じハガキ）、幼稚園児・保育園児との交流、異学年交流、障がい者スポーツ体験、パラリンピック選手への応援メッセージ贈呈、手作りプレゼント（金メダル）贈呈、福祉従事者からの講話、赤い羽根共同募金
18	大坂 小学校	あいさつ運動、アルミ缶収集、収益金寄附・手紙送付、体験学習（貯あげ、野菜栽培（地域の方と交流）、老人ホーム施設長、肢体不自由者、視覚障がい者、赤い羽根共同募金
19	千浜 小学校	ボランティア募集配布、ポスター掲示、アイマスク体験、ユニバーサルデザイン調べ学習、赤い羽根共同募金、花壇作り
20	土方 小学校	ゲストとの交流（聴覚）、赤い羽根共同募金、収集物（アルミ缶、古切手）、保幼小交流活動、資源回収
21	横須賀 小学校	赤い羽根共同募金、収集活動（アルミ缶、ペットボトルキャップ・書き損じはがき）、聴覚障がい者、視覚障がい者、肢体不自由者との交流、車いす・ボッチャ体験
22	大渕 小学校	体験（点字・白杖・手話・車椅子）、地域の方との交流、聴覚障がい者、視覚障がい者、肢体不自由者との交流、赤い羽根共同募金、収集活動（アルミ缶）、異学年交流
23	東 中学校	広報啓発活動（ベルマーク、熱海市土砂災害特別募金活動、赤い羽根募金）、技術家庭科（バリアフリー、ユニバーサルデザインについて）、保健体育（心と体の成長について）、福祉施設への寄付、実践連絡協議会における情報交換
24	西 中学校	アルミ缶回収（車いす購入資金積み立て）、赤い羽根共同募金、医療従事者への寄せ書き、校内ボランティアの推進、特別支援学級においてのシニア体験、ボッチャ体験、手当ケア（災害時）
25	栄川 中学校	福祉コーナーへの活動掲示、福祉に関する本の紹介コーナー設置、点字学習、人権教室、幼稚園への訪問・交流、ボッチャ体験、赤い羽根共同募金
26	桜が丘 中学校	人権意識の向上活動、災害義援金協力、募金活動（赤い羽根共同募金）、清掃ボランティア、地域の方と花壇の整備

27	北中学校	ベルマーク・赤い羽根募金の広報活動、バリアフリーデザイン・ユニバーサルデザイン調査、被災地への募金活動（岐阜豪雨）、福祉教育の情報交換
28	原野谷中学校	校内掲示、収集活動（アルミ缶、古紙回収、書き損じハガキ）、被災地への募金活動（九州豪雨）、災害図上訓練、保育体験、地域防災訓練参加、資源回収活動、環境美化活動
29	城東中学校	福祉学習発表会、福祉教育（福祉とは、高齢者理解、聴覚、肢体不自由者、視覚、ユニバーサルデザイン）
30	大浜中学校	ボランティア活動への呼びかけ、ゲストによる福祉講話（肢体不自由者）、募金活動（ユニセフ、赤い羽根募金）、書き損じはがき収集
31	大須賀中学校	地域ボランティア募集、大須賀児童館ボランティア、赤い羽根共同募金、草花の育成
32	掛川東高校	福祉委員によるボランティア募集の呼びかけ、掲示板での生徒への啓蒙、ボランティア活動への参加状況調査、JRCの定例会の参加（発表・意見交換）、1年生保育体験実習振替、ボランティア部及び希望者による学童手伝い、保育園や地域でのボランティア活動参加、ビニールエプロン及びガウンの制作・寄附、赤い羽根共同募金、収集活動（使用済切手、ベルマーク）、サマーショートボランティア、県・市主催のボランティア講座への参加
33	掛川西高校	ボランティア活動啓蒙、生徒による小学生対象の出張授業、ドローン操作体験、地域の美化活動、24時間テレビ募金活動、野球部による小学生への野球教室、音楽部による介護施設へZOOMを用いた合唱披露
34	掛川工業高校	福祉活動、ボランティア活動参加案内及び参加報告、学童保育ボランティア、空飛ぶ車いす、赤い羽根共同募金
35	横須賀高校	校内掲示、福祉委員会・地域交流活動部を通し、ボランティア活動参加呼びかけ、保育実習、ユニセフ募金、赤い羽根共同募金、地域交流活動部収集活動（ペットボトルキャップ）

## （2） 福祉教育実践校連絡会の実施（2回）

「掛川市福祉教育実践校連絡会」を実施し、各学校における福祉教育の視点、推進上の課題について意見交換しあい、実践校活動の情報交換を行なった。

### 1回目

日 時 令和3年5月13日（木）15:00～16:30（Zoom開催）  
 会 場 掛川市総合福祉センター 教養会議室  
 参加者 市内小中高等学校福祉教育担当教諭 35人  
           協力ゲスト 6人  
 内 容 掛川市社会福祉協議会事業と実践校事業について  
           地域福祉教育とは 講師 静岡県社会福祉協議会 金子拓氏  
           社協への依頼方法

### 2回目

日 時 令和4年2月10日（木）15:00～16:30  
 会 場 掛川市総合福祉センター 教養会議室他（Zoom開催）  
 参加者 市内小中高等学校福祉教育担当教諭 35人  
 内 容 社協実践報告  
           グループワーク  
           認知症サポーター養成講座について

## 掛川市福祉教育実践校事業助成金について

### <2> 地域ぐるみの学びの場づくり

#### (1) 地域出前講座の実施

コロナウイルス感染防止のため未実施。

#### (2) 市民地域福祉セミナーの実施

日 時 令和 3 年 12 月 1 日 (水) 13:30～15:30 (Zoom 開催)

会 場 桜木ホール・教養会議室・大東市民交流センター・参加者自宅

参加者 52 名

内 容 「独りぼっちを作らない！ “助け上手 助けられ上手” のすすめ  
～地区福祉協議会の今日的意義～」

講 師 大阪教育大学教育学部教養学科 教授 新崎国広氏

#### (3) 精神保健福祉出前講座の実施

精神保健福祉の地域への啓発を希望する地区がなかった為開催なし。

#### (4) サマーショートボランティア講座への協力支援

サマーショートボランティアは、県ボランティア協会が中心となって、夏休みを利用して行うボランティア体験プログラムである。学生から一般まで、幅広い年齢層が参加でき、活動者は、県内の福祉施設で 4 日以上のボランティア活動を体験する。当会は共催として、募集・PR等で実施支援をしている。

#### (5) 小学生福祉ふれあい交流の実施

福祉体験を通じて、福祉・ボランティアの啓発を図った。

(南北合同)

日 時 令和 3 年 8 月 18 日 (水) 9:30～11:30

会 場 西山口地域生涯学習センター (せんだん)

内 容 「ボッチャを体験して障がい者スポーツへの理解を深める」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

#### (6) 中学生・高校生福祉ふれあい交流の実施

福祉体験を通じて、福祉・ボランティアの啓発を図った。

(南北合同)

日 時 令和 3 年 8 月 4 日 (水) 9:35～11:50

会 場 たまり～な 大研修室

内 容 「パラスポーツを体験しよう」

参加者 講師 2 名、栄川中学校陸上部 20 名、職員 3 名 計 25 名

#### (7) 高校生ボランティアの育成

青年学級で高校生ボランティアを受け入れた。

- ・この指とまれ：高校生 13 人
- ・四つ葉の会：高校生 3 人

## 第4 福祉基盤を強化する体制・組織づくり

### 1 福祉を進める体制を強化する事業

#### <1> 地域包括ケアシステムの充実

##### (1) C SW事業の推進（受託）

- P 5 3 (1) 地域健康医療支援センターへの参画 (再掲)  
P 4 0 (1) 地区福祉協議会活動支援 (再掲)  
P 3 8 ③ 地区福祉協議会連絡会代表者・企画委員長合同会議の実施  
(各エリア3回) (再掲)  
P 4 5 (1) 小地域福祉ネットワーク活動の立ち上げ、活動支援 (再掲)  
P 5 3 (2) 福祉関係機関・専門機関との連携 (再掲)  
P 5 8 ③ C SW研修会の実施 (再掲)

##### (2) 生活支援事業の実施（受託）

- P 5 3 (1) 地域健康医療支援センターへの参画 (再掲)  
P 2 6 (1) 高齢者ふれあい・いきいきサロンの普及・推進支援 (再掲)  
P 4 9 (6) 特技ボランティアリストの改定 (再掲)  
P 4 0 (1) 地区福祉協議会活動支援 (再掲)  
P 4 5 ② 小地域福祉ネットワーク活動研修会 (再掲)  
P 5 2 (2) 市民地域福祉セミナーの実施 (再掲)  
P 4 6 ③ 先進地視察研修 (再掲)  
P 4 6 (2) 地域における家事支援の体制づくり (再掲)  
P 4 7 ① 生活支援コーディネーター打ち合わせ会の実施 (再掲)  
P 4 7 ② 地域支えあい推進協議会への参画 (再掲)  
P 5 3 (2) 福祉関係機関・専門機関との連携 (再掲)  
P 3 8 ③ 地区福祉協議会連絡会代表者・企画委員長合同会議の実施  
(各エリア3回) (再掲)

##### (3) 社会資源の発掘と活用

ふくしあC SWが生活支援コーディネーターを兼務することをパンフレットにて周知し、地域ボランティアとして活動する気持ちのある人を募る取り組みを実施した。

35地区福祉協議会の活動内容（実施事業）の一覧を作成し、地域福祉活動実践者が活用できるよう配布した。

#### <2> 福祉関係機関との連携強化

##### (1) 地域健康医療支援センターへの参画

行政の進める地域健康医療支援センター（ふくしあ）へ、コミュニティソーシャルワーカーを配置し、他福祉機関と連携し、保健、福祉、医療、介護等の相談にワンストップで対応する体制を構築し地域福祉の推進を図った。

東部・中部・西部・南部大東・南部大須賀の各ふくしあへC SWを10人配置

##### (2) 福祉関係機関・専門機関との連携

生活圏域ごとに、地域の高齢者の福祉ニーズを検討し、サービスの充足状況を把握し、新たな地域ケア体制の構築を図るために、地域包括支援センター等の主催する地域

ケア会議・包括相談協力員懇話会に参画した。

#### 地域ケア会議

開催日	地区	内 容
毎月 10 日前後	東部地区	東部エリアの地域課題について (招集／東部ふくしあ)

#### 包括相談協力員懇話会

エリア	中部	東部	西部	大東	大須賀	合計
回数	9	9	8	6	2	34

#### (3) 社会福祉法人との連携

社会福祉法改正に伴う社会福祉法人の社会貢献活動について、市内に本部や施設のある社会福祉法人とともに研究会を開催し、情報共有と共に様々な事業を実施した。

#### (4) 社会福祉法人等社会貢献研究会の開催

##### ① 掛川市社会福祉法人等社会貢献研究会

###### 【第1回】

開催日 令和2年9月（文書による会議）

参加者 18 施設・法人

内 容 各法人の社会貢献活動に対する状況報告・情報交換

福祉なんでも相談の取組について、社協からの話題提供他

###### 【第2回】

開催日 令和4年3月4日(金) 10:00～11:30

会 場 掛川市総合福祉センター 教養会議室

参加者 10 施設・法人 (Zoomと文書による会議)

内 容 各法人の社会貢献活動に対する状況報告・情報交換

社協からの話題提供・プロボノ活動について

福祉なんでも相談の取組について他

### <3> 地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進

#### (1) 地域福祉計画と地域福祉活動計画の推進

今年度より、第四次計画がスタートし「地域福祉活動計画」の推進を図るために、地域への普及啓発と共に、行政との調整や、実践者である各地区福祉協議会、まちづくり協議会と専門職への評価アンケートを行った。

#### (2) 地域福祉計画・活動計画推進委員会の開催

地域福祉計画地域福祉活動計画推進等委員会を行政と合同で設置開催した。

##### ①計画推進等委員会

日 時 令和4年1月14日(金) 14:00～15:35

会 場 掛川市役所5階 全員協議会室

出 席 26名(推進委員・アドバイザー・事務局)

アドバイザー：静岡福祉大学増田樹郎教授

内 容 評価アンケート結果報告、意見交換

## ②事務局会議

福祉課・社会福祉協議会・アドバイザー（静岡福祉大学増田樹郎教授）等で構成し、8回開催（4/7・4/23・7/6・9/17・9/27・1/6・1/12・2/17）

## ③各地区計画説明

地区福祉協議会、まちづくり協議会などへ第四次計画について説明を行った。  
説明団体／26団体 延べ435人

### （3）地域福祉活動計画の評価・見直し

計画策定等委員会の開催や評価方法について、福祉課・地区福祉協議会連絡会・社会福祉協議会にて協議検討を行った。

## 2 社会福祉協議会の運営と組織強化

### <1>社会福祉協議会の運営

#### （1）四役会・理事会・評議員会の開催

##### ① 四役会 12回開催

毎月初旬に開催し、事業報告及び予定の確認等を行い、当面する課題等についての取り組みを協議し、充実した活動につなげた。

##### ② 理事会 5回開催（内1回は理事会開催の省略）

回	年月日	出席者	議題
1	令和3年6月2日	9人	(協議事項) 議案第1号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会評議員候補者の推薦(案)について 議案第2号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会理事候補者の推薦(案)について 議案第3号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会監事候補者の推薦(案)について 議案第4号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会評議員選任等委員会委員の選任について 議案第5号 令和2年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会事業報告について 議案第6号 令和2年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉事業資金収支決算について 議案第7号 令和3年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉事業第一次資金収支補正予算について 議案第8号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会非常勤職員就業規程の一部改正について 議案第9号 令和2年度指導監査結果に係る是正・改善計画の提出について 議案第10号 施設長の選任について 議案第11号 令和3年度第1回社会福祉法人掛川市社会福祉協議会評議員会の招集について (報告事項) 報告第1号 会長及び常務理事における職務執行状況の報告について

2	令和 3 年 6 月 21 日	12 人	<p>(協議事項)</p> <p>議案第 12 号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会会长の選任について            議案第 13 号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会副会長の選任について            議案第 14 号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会専務理事の選任について            議案第 15 号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会常務理事の選任について</p> <p>(報告事項)</p> <p>報告第 2 号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会評議員の確定について</p>
3	令和 3 年 12 月 3 日	11 人	<p>(協議事項)</p> <p>議案第 16 号 令和 3 年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉事業第二次資金収支補正予算について            議案第 17 号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会経理規程の一部改正について            議案第 18 号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会会长専決規程の一部改正について            議案第 19 号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会評議員選任等委員会運営細則の一部改正について            議案第 20 号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会評議員選任等委員会委員の選任について            議案第 21 号 令和 3 年度第 2 回社会福祉法人掛川市社会福祉協議会評議員会の招集について</p> <p>(報告事項)</p> <p>報告第 3 号 令和 3 年度現年監査の結果について            報告第 4 号 会長及び常務理事における職務執行状況の報告について</p>
4	令和 4 年 2 月 10 日 (定款第 30 条第 2 項の規定による理事会の決議があったものとみなされた日)		<p>(協議事項)</p> <p>議案第 22 号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会評議員候補者の推薦（案）について            議案第 23 号 令和 3 年度第 2 回社会福祉法人掛川市社会福祉協議会評議員選任等委員会の開催について</p>
5	令和 4 年 3 月 18 日	13 人	<p>(協議事項)</p> <p>議案第 24 号 令和 3 年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉事業第三次資金収支補正予算について            議案第 25 号 令和 4 年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会事業計画について            議案第 26 号 令和 4 年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉事業資金収支予算について            議案第 27 号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会経理規程の一部改正について            議案第 28 号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について            議案第 29 号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について            議案第 30 号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会非常勤</p>

			職員就業規程の一部改正について 議案第31号 役員等賠償責任保険の契約について 議案第32号 令和3年度第3回社会福祉法人掛川市社会福祉協議会評議員会の招集について
--	--	--	--

③ 評議員会 3回開催

回	年 月 日	出席者	議 題
1	令和3年6月21日	31人	(協議事項) 議案第1号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会理事の選任(案)について 議案第2号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会監事の選任(案)について 議案第3号 令和2年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会事業報告について 議案第4号 令和2年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉事業資金収支決算について 議案第5号 令和3年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉事業第一次資金収支補正予算について 議案第6号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会非常勤職員就業規程の一部改正について (報告事項) 報告第1号 令和2年度指導監査結果に係る是正・改善計画の提出について 報告第2号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会評議員の確定について
2	令和3年12月22日	30人	(協議事項) 議案第7号 令和3年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉事業第二次資金収支補正予算について 議案第8号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会経理規程の一部改正について 議案第9号 社会福祉法人掛川市社会福祉協議会会长専決規程の一部改正について (報告事項) 報告第3号 令和3年度現年監査の結果について
3	令和4年3月28日	35人	(協議事項) 議案第10号 令和3年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉事業第三次資金収支補正予算について 議案第11号 令和4年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会事業計画について 議案第12号 令和4年度社会福祉法人掛川市社会福祉協議会社会福祉事業資金収支予算について

(2) 研修会の実施

① 役職員研修会の実施

コロナ感染予防のため、昨年度に引き続き中止した。

## ② 職員研修会の実施

### (新任職員研修)

採用された新規職員に対し、社協職員としての自覚を育て、業務執行能力を高めるために採用時に研修会を実施した。

日 時 採用時随時実施

内 容 ①社協概論、②組織規則、③規程、④危機管理

対象者 令和3年度新規採用職員

### (小集団活動)

職員の資質向上を図るための研修として、29年度から小集団活動を実施している。

開催日：毎月1回、小集団（5グループ）ごとに開催日を設定して実施

内 容：グループごとに、職員の資質向上や組織の改善につながるテーマを自由に設定して討議する

対象者：正規職員全員及び嘱託職員の希望者

## ③ C SW研修会の実施

C SW職員を中心に、事例検討を中心とした資質向上のための研修会をZoomで実施した。

講 師 日本社会事業大学 社会福祉学部准教授 菱沼幹男 氏

1回目 令和3年 6月 3日 (木) 13:00~17:00 13人参加

2回目 令和3年 9月 6日 (月) 13:00~17:10 15人参加

3回目 令和4年 1月 27日 (木) 13:00~17:15 16人参加

## （3） 経営強化委員会の開催

社協の組織や事業を見直し、経営強化を図ることを目的に、有識者による委員会を設置し、意見、提言をいただきながら、業務改善を図った。

コロナウイルス感染拡大によるまん延等防止重点措置期間の為、文書による会議とした。

委員 区長会代表、民児協代表、市議会代表、福祉施設経営者、行政職員、市社協理事、県社協職員（10名）

実施日 ①8.26（木）

主な協議内容

事業評価、職員提案制度、職員の待遇改善・資質向上、指定管理事業、成年後見（法人後見・市民後見）推進、コロナ禍の対応他

## （4） 会費の充実（一般会費・賛助会費）

### ① 一般会費の充実

区長会に依頼し、区でとりまとめいただき、振込用紙で各金融機関から振込みをしていただくようお願いしている。一世帯あたり500円のうち200円については、地域に還元し、地域福祉の推進と充実に充てられている。

1世帯 500円 世帯数 46,117世帯（令和3年4月30日現在）

合計額 15,976,000円(納入世帯数 31,952世帯) 69.3%

### ② 施設・団体会員の拡充

社会福祉法第109条を基に、福祉施設・団体等に会員加入をお願いした。

1口 2,000円 24件 128,000円

### ③ 賛助会員の拡充

社会環境の大きな変化の中、福祉ニーズも多種・多様化しており、社会福祉協議会の役割に、今後一層の期待が寄せられ、民生委員児童委員のご協力のもと、当会の趣旨に賛同いただいた方に賛助会員として加入をお願いした。

1口 1,000円以上 企業・団体・個人 915件 2,219,725円

## 3 共同募金運動の推進

### <1> 共同募金運動への協力

#### (1) 静岡県共同募金会掛川市共同募金委員会運営委員会の開催

第1回 令和3年6月 2日(水) 理事会終了後

第2回 令和3年6月 21日(月) 理事会終了後

第3回 令和4年3月 18日(金) 理事会終了後

#### (2) 共同募金（一般募金）への協力

令和3年度目標額 11,850,000円

令和3年度一般募金実績額 11,223,866円 (目標額の 94.7%)

#### (3) 歳末たすけあい募金への協力

令和3年度目標額 8,500,000円

令和3年度歳末たすけあい募金実績額 7,760,482円 (目標額の 91.3%)

#### (4) 災害義援金への協力

静岡県共同募金会を通じて、要請のある被災地域からの災害義援金募集に対応した。

### <2> 共同募金助成事業の実施

#### (1) 助成金による地域福祉事業の充実

令和2年度共同募金助成金、歳末たすけあい剰余金が令和3年度に一般募金助成金として社会福祉協議会に助成され、福祉事業の充実のために活用した。

#### ◎助成金の明細

(単位：円)

令和2年度共同募金 (地域福祉活動) 助成金	令和2年度歳末たすけあい募金 剰余金による地域福祉活動助成金	助成金合計金額
6,886,269円	4,008,232円	10,894,501円

#### ◎一般募金助成金事業一覧

(単位：円)

区分	事業名	金額
障害児・者福祉活動費	青年学級	98,785
	精神障がい者サロン	197,161
	おもちゃ図書館	47,801
小計	3件	343,747

児童・青少年福祉活動費	小学生福祉ふれあい交流	10,309
	中学生福祉ふれあい交流	16,642
	福祉教育実践校事業助成金	1,658,000
	福祉教育実践校連絡会	31,825
小計	4件	1,716,776
福祉育成・援助活動費	福祉お助け用品貸出事業	190,840
	地区福祉協議会活動助成金交付事業	8,471,400
	赤い羽根地域福祉促進助成事業	602,504
小計	3件	9,264,744
ボランティア活動育成事業費	ボランティア養成講座	38,000
	災害ボランティアセンター立ち上げ訓練	173,260
	災害ボランティア講座	79,074
	ひきこもり者支援事業	1,013,986
小計	4件	1,304,320
合計	14件	12,629,587

※事業費は、共同募金助成額 10,894,501円、参加者負担金・雑収入・法人運営事業サービス区分繰入金収入等 1,735,086円を含む総事業費です。

## (2) 赤い羽根地域福祉促進助成事業の実施（新規）

赤い羽根共同募金の助成金を活用し、掛川市の地域福祉向上のために継続的に取り組んでいる団体が行う新規事業に対し助成を行った。

今年度においては、子育てサロンや高齢者サロンに対して講座や交流会の事業費、レクリエーション用具の購入費等を助成した。

令和3年度 決定 11件 581,000円（1件却下、1件減額）  
申請 12件 721,000円

## <3> 歳末たすけあい助成事業の実施

みなさまからご協力いただいた歳末たすけあい募金を掛川市内の「生活にお困りで見舞金の必要な世帯」や「福祉団体・ボランティア団体等が行う福祉事業」に対して助成した。

### (1) 令和3年度助成状況

歳末たすけあい募金実績額	7,760,482円
助成実績額	5,340,000円
(助成内訳) 見舞金の助成	4,017,000円
福祉事業への助成	1,323,000円

※ 募金実績額と助成実績額の差額 2,420,482円は、R4年度に掛川市共同募金委員会事務費及び地域福祉事業費として助成されます。

## (2) 援助・支援対象（世帯）把握

歳末たすけあい見舞金助成対象者の基準として「経済的理由で助言指導を必要とする母子、父子、高齢者、障がい者世帯（住民税非課税世帯）などで生活困窮と認められる世帯」として、その把握を行った。

### 把握の方法

- ・社協だよりによる広報
- ・生活困窮者自立支援事業のケース内での把握

## (3) 助成の決定のための審査会の実施

各地区民生委員児童委員協議会会长 7人、社協会長、共同募金委員会会长及び事務局長で審査会を開催し、下記(4)、(5)の見舞金贈呈事業の助成世帯及び助成金額および歳末福祉事業への助成金額を決定した。

令和3年度 11月30日（火） 13:25～15:25

## (4) 見舞金贈呈事業の実施

申請のあった歳末たすけあい見舞金助成対象者に見舞金を贈呈した。

### （歳末たすけあい見舞金の計算方法）

申請者に23,000円に加え申請者以外で対象となる家族に一人当たり1,000円を加算する。

見舞金助成状況 世帯数 ( ) 内は人数

地区 民児協	母子・父 子 世帯	高齢者 世 帯	障がい児 者世帯	その他	合 計	助 成 合 計 額 (円)
第1地区	6 (12)	8 (10)	2 (2)	2 (4)	18 (28)	424,000
第2地区	3 (8)	8 (10)	2 (2)	0 (0)	13 (20)	306,000
第3地区	5 (17)	8 (8)	7 (13)	0 (0)	20 (38)	478,000
第4地区	10 (27)	21 (22)	2 (4)	3 (4)	36 (57)	849,000
第5地区	3 (11)	14 (20)	4 (6)	4 (9)	25 (46)	596,000
第6地区	2 (5)	25 (29)	7 (13)	3 (4)	37 (51)	865,000
第7地区	5 (13)	7 (9)	8 (13)	1 (2)	21 (37)	499,000
合 計	34 (93)	91 (108)	32 (53)	13 (23)	170 (277)	4,017,000

(5) 福祉団体及び住民の主体的な福祉活動への支援並びに福祉事業の推進

地区福祉協議会、福祉団体、ボランティア団体等が年末年始（12月から1月まで）に行う、住民参加による福祉事業に対して申請を受付けて助成した。

福祉事業への助成状況

事 業 種 別	件 数	金額 (円)
高 齢 者 事 業	44	868,000
障がい児・者事業	10	318,000
児童・青少年事業	9	137,000
合 計	63	1,323,000

## 令和3年度

### 事業報告の附属明細書

令和3年度の事業報告に関して、定款第38条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書について、（※）記載する事項はありません。

（※）記載する事項・・・社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」